

Annual Report

2021



関西学院大学 人間福祉学部

実践教育年報

2021 年度年報 目 次

はじめに	1
建学の精神と実践教育の位置づけ	2
実践教育支援室の位置づけと機能	4
2021 年度実践教育科目・実践教育関連科目実施状況	6
関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科における実習実施にあたっての 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン	9
健康管理表	11
移動履歴表	12

社会福祉学科

(1) カリキュラムフロー	15
(2) 実践教育科目	
ソーシャルワーク実習入門	17
ソーシャルワーク実習	20
精神保健福祉援助実習	22
医療ソーシャルワーク・インターンシップ	24
学校ソーシャルワーク実習	26
(3) 実践教育関連科目	
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	28
ソーシャルワーク演習Ⅳ	30
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	33
ソーシャルワーク演習Ⅴ	35
ソーシャルワーク論B	37
ソーシャルワーク論F	39

社会起業学科

(1) カリキュラムフロー	43
(2) 実践教育科目	
社会起業フィールドワーク（国内）	45
社会起業フィールドワーク（海外）	47
社会起業インターンシップ（国内）	49

社会起業インターンシップ（海外）	50
社会起業アドバンスト・インターンシップ	51

人 間 科 学 科

(1) カリキュラムフロー	55
(2) 実践教育科目	
人間科学実習入門	57
人間科学フィールドワーク	59
(3) 実践教育関連科目	
運動生理学実験実習	61
スポーツバイオメカニクス実験実習	62

人 間 福 祉 研 究 科

(1) アドバンスト・フィールドワーク	65
---------------------	----

正 課 外 で の 取 り 組 み

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験☆合格塾☆	69
社会福祉士実習合同研究会・懇談会	71
社会起業学科 新入生歓迎プログラム「これが社起やDAY！！2021」	72
人間福祉学部 実践教育報告会	73
大阪府福祉部職場体験学習	75
福祉系進路相談セミナー	76

資 料

2021年度 実習・インターンシップ等概要データ	81
2021年度 実習・インターンシップ・フィールドワーク先一覧	82
2021年度 実践教育科目担当教員一覧	87
2021年度 発行物一覧	90

はじめに

関西学院大学実践教育支援室より 2021 年度の Annual Report（実践教育年報）をお届け致します。

この文章を書いている 2022 年 3 月時点で、新型コロナウイルス感染症の生活に対する影響は、すでに 2 年以上に渡るものになっており、昨年の同時期に比べると、いわゆる「ウィズ・コロナ」の生活にも慣れてきたといえるかもしれません。昨年度は、感染予防対策ガイドラインの策定に始まり、健康管理表や移動履歴表の作成、コロナ禍の中での実習やインターンシップの実施方法の検討など、かつて経験したことのない状況への対応に追われていましたが、今年度は、そうした 2020 年度の経験を活かすことができたように思います。残念ながら、今年度も海外渡航は叶いませんでしたが、オンラインによる代替実習、また ZOOM を活用しての実習指導など、こうした経験は、感染症の有無にかかわらず、今後も有効に活用できる可能性も感じています。また、学部行事としての実践教育報告会については、万全な感染対策をとりながら、対面で実施いたしました。

とはいえ、今年度は、実習が佳境に入っている時期に緊急事態宣言が発出されたり、実習先におけるクラスターの発生などによる実習中断や延期などもありました。その都度、実習指導者の皆様とは協議をさせていただき、何とか切り抜けていくことができました。このように、実習先関係者の皆様には、困難な状況下で、またお忙しい業務の中、本学の実践教育に対して多大なるご支援、ご配慮、学生へのご指導を賜りましたことを心よりお礼申し上げます。

コロナ対応の混乱の中ではありましたが、2020 年度から人間福祉学部の新しいカリキュラムが導入され、実践教育については、新たに「人間福祉フィールドスタディ」という 3 学科共通の科目がスタートしました。3 学科の学生が、それぞれの学科の特徴を反映したねらいを持って事前学習を行い国内でのフィールドスタディを行いました。この科目の新設により、各学科における実践教育科目の整理・改廃が行われることとなります。

本学は間もなく、設立 15 周年を迎えることとなりますが、今後も学部のミッションである 3 つの C の具体化、社会における様々な課題のソリューションに貢献できる人材養成を目指して、さらに充実した実践教育の展開に向けて、教育・研究機関としての教育内容、体制のますますの向上に努めてまいりますので、引き続きのご指導、ご鞭撻をいただきますよう、何卒よろしくお願い致します。2021 年度の総括としての年報をご一読いただき、皆さまからの率直な意見、ご要望をいただければ幸いです。

関西学院大学人間福祉学部
実践教育支援室
室長 川 島 恵 美

建学の精神と実践教育の位置付け

● 建学の精神 ●

本学の教育は、キリスト教主義を基礎とした実践的な学びの重視をその伝統としている。本学キリスト教主義には、第4代院長C・L・ベーツ博士が唱えた“Mastery for Service”（奉仕のための練達）というスクールモットーとして表現された「社会福祉の精神」がその根底にあり、それら両者が本学における教育のバックボーンを形成しているといえる。すなわち、本学の教育には、建学の精神であるキリスト教主義と、スクールモットーとによって裏付けられた「社会福祉の精神」が脈々と流れているのである。この本学の教育理念は、具体的な社会福祉の実践において、謙虚さと人を愛する行為に表される。言うまでもなく価値・倫理を備えた専門的実践者の養成は、一つの宗教的背景のみによってなされ得るものではないが、今後いっそうの拡大と重要性が増す社会福祉において、本学の教育が果たし得る役割を増大するものとする。それは本学に学ぶ者の「人への思いやり」、「豊かな情操と人道的素地をもって福祉に取り組む力」に反映されると確信している。

● 人間福祉学部の意義と目的 ●

本学人間福祉学部は、ニーズが拡大する日本の社会福祉における専門教育機関として、上記の建学の精神の「奉仕のための練達」を土台とする、文学部社会事業学科からの伝統ある社会福祉教育をより一層充実させ、21世紀の福祉を担う人材養成に貢献するために2008年4月に創設された。その教育目標は、次の3つの「C」を身につけ、専門職としてあるいは市民として社会福祉の向上に貢献する人材を育成することにある。

- ① グローバルに考え、具体的かつ創造的に行動する力（Comprehensiveness）
- ② 高度な問題解決とマネジメントを行う能力（Competence）
- ③ 豊かな情操と人道的素地をもって福祉に取り組む能力（Compassion）

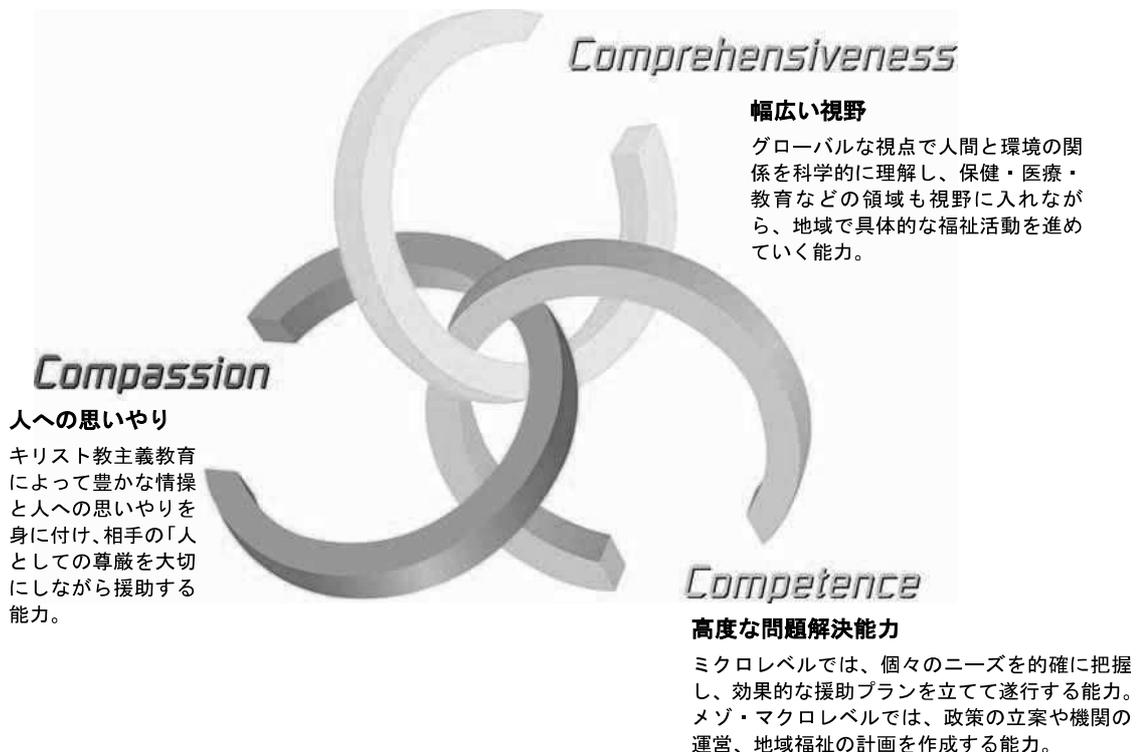
特に②の能力は、専門職であれ地域のリーダーであれ、福祉の推進を実践する力（Competence）として重要なものである。この能力が広い視野（Comprehensiveness）とキリスト教主義教育によって培われた人としての思いやり（Compassion）と一つになる時、21世紀の福祉を支える極めて有用な人材が育成されるものとする。

● 建学の精神 ●

本学部の実践教育は、先述のような人材を育成するために不可欠なカリキュラムであり、社会福祉教育の根幹をなすものである。具体的には、本学部の実践教育では以下の内容を重視する。

- ① 社会福祉の価値を学ぶ。
- ② 福祉ニーズの個別性と独自性を学ぶ。
- ③ 問題解決にとって効果的な社会福祉の援助方法を学ぶ。
- ④ 社会福祉援助に必要な態度について学ぶ。
- ⑤ 社会福祉援助を評価する調査方法を学ぶ。
- ⑥ 施設・機関の機能、役割と社会制度における位置づけを学ぶ。
- ⑦ 施設・機関の運営や社会資源の活用の方法を学ぶ。
- ⑧ 施設・機関職員の業務に対する姿勢について学ぶ。
- ⑨ 施設・機関の抱える諸問題と解決方法について学ぶ。

● 3つのCがキーワード ●



実践教育支援室の位置づけと機能

実践教育支援室は、本学人間福祉学部の実習やインターンシップ等の実践教育が、スムーズかつ実りあるものとなるよう、学生をサポートしている。社会福祉施設をはじめとして200近くの幅広い施設や機関等と学生との橋渡しの存在である。

職員体制

室長 1人 / 助教 2人 / 実習助手 5人 / 事務職員 2人

場 所

G号館2階

開室時間

月～金曜日 8:40～18:40

土曜日 8:50～12:20

(休暇期間中等は変更)



主な業務

◆教育体制を整える

- 実践教育関連科目のプランニングとコーディネート
- 実践教育関連科目を履修する学生の個別ニーズに応じたサポート

◆連携体制を整える

- 実践教育機関との連携構築と維持
- 実習配属および実習先との連絡調整
- 本学OB・OGとの連携構築と維持
- ソーシャルワーク教育学校連盟・社会福祉士会・精神保健福祉士協会等の関連団体との協力

◆調査・研究体制を充実させる

- 実践教育に関する調査・研究の推進
- 実践教育プログラムおよび教材の開発

教室紹介

(1) 多機能演習室

多機能演習室は、様々な用途で使用でき、土足厳禁の広いスペースとなっているので、大人数のワークショップやフロアでの作業も可能である。また、可動式のモニター、ビデオカメラ等を設置すると、コミュニケーションラボとしても使用することができる。福祉や教育など人と人のかかわりが中心となる場面では、様々なコミュニケーションが重要な役割を果たすことになる。特にソーシャルワーク実践においては、より良いコミュニケーションスキルはあらゆる側面で必要とされると言われている。そのために、まず自分自身の持つコミュニケーションパターンを理解し、状況に応じたスキルトレーニングを行うことが欠かせない。そこで本学ではコミュニケーションラボシステムを使って体験的な学びの場を展開している。ラボでは、ビデオカメラ、モニター、DVD/VHSプレイヤー、デジタルAVミキサーなどの機器を用い、面接シミュレーションやロールプレイングを行い、録画した面接場面の映像を利用してフィードバックや分析などを行う。また、ラボ用に開発されたアクション型のDVD教材を用いての応答パターン演習など様々な実践的かつ体験的な学びの機会を提供している。



(2) 面接室・観察室

面接室はビデオカメラが2台天井に設置されており、面接室全体の録画が可能である。また、面接室と観察室の間にone-way-mirrorが設置されており、面接室の状況を観察室からリアルタイムで観察することができる。こうした準備教育によって、現場での実習やフィールドワークの場面に自信を持って臨むことが可能となる。



(3) グループワーク室

演習や実習指導、学生の正課外での社会貢献活動、各種実践教育に関連する会議やゼミナール・研究会等、様々な用途で利用されている。



(4) 個人面談室

学生の相談、個別の実習指導等で使用されている。



2021 年度 実践教育科目・実践教育関連科目 実施状況

1. 社会福祉学科

実践教育科目	
科目名	実施形式
ソーシャルワーク実習入門	感染防止対策に留意し通常どおり実施。
ソーシャルワーク実習	感染防止対策に留意し通常どおり実施。
精神保健福祉援助実習	感染防止対策に留意し通常どおり実施。
ソーシャルワーク・インターンシップ	(不開講)
医療ソーシャルワーク・インターンシップ	授業はすべてオンラインで実施。 インターンシップは5月開始予定を7月開始として実施。
学校ソーシャルワーク実習	感染防止対策に留意し通常どおり実施。
実践教育関連科目	
科目名	実施形式
ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	オンラインで実施（特定の回のみ対面授業を実施）。
ソーシャルワーク演習Ⅳ	オンラインと対面形式のハイブリッド型で実施した。
ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	オンラインと対面形式のハイブリッド型で実施した。
ソーシャルワーク演習Ⅴ	オンラインと対面形式のハイブリッド型で実施した。
ソーシャルワーク論 B	オンラインで実施。
ソーシャルワーク論 F	1 回目のオリエンテーションは、オンラインで実施。2 回目からは感染防止対策に留意し通常どおり実施。

2. 社会起業学科

実践教育科目	
科目名	実施形式
社会起業フィールドワーク（国内）	フィールドワークを現地訪問とオンラインの双方を組み合わせて実施。
社会起業フィールドワーク（海外）	ルワンダとのフィールドワークをオンラインの集中講義形式で実施。
社会起業インターンシップ（国内）	事後指導ではオンラインと対面を併用した。 学生企画講演会（全5回）はオンラインと対面の双方を組み合わせて実施した。
社会起業インターンシップ（海外）	海外を国内に切り替えてインターンシップを実施。
社会起業アドバンスト・インターンシップ	インターンシップが一部在宅での実施となった。

3. 人間科学科

実践教育科目	
科目名	実施形式
人間科学実習入門	合宿を中止し、日帰りプログラムと学外に予定を変更して実施。基本的には対面形式で授業を行ったが、一部演習授業ではオンラインも活用。
人間科学フィールドワーク	フィールドワーク、事前事後指導をオンラインと対面形式の双方を組み合わせて実施。
実践教育関連科目	
科目名	実施形式
野外教育実習 A	（不開講）
野外教育実習 B	（不開講）
野外教育実習指導 I	（不開講）
野外教育実習指導 II	（不開講）
運動生理学実験実習	オンラインで実施。 実験が難しい单元については、理論に関する

	る講義を中心に授業を進行。
スポーツバイオメカニクス実験実習	感染防止対策に留意しながら通常どおり実施。

4. 人間福祉研究科

実践教育科目	
科目名	実施形式
アドバンスト・フィールドワーク	感染防止対策に留意しながら通常どおり実施。

5. 正課外での取り組み

取り組み名	実施形式
社会起業学科 新入生歓迎プログラム 「これが社起や DAY!! 2021」	感染防止対策に留意し、実施時間を短縮して対面で実施。
大阪府福祉部職場体験学習	感染防止対策に留意し実施。
人間福祉学部 実践教育報告会	感染防止対策に留意し実施。
社会福祉士・精神保健福祉士国家試験 合格塾	オンラインで実施。
社会福祉士実習合同研究会・懇談会	オンラインで実施。
福祉系進路相談セミナー	感染防止対策に留意しながら対面、オンラインの双方で実施。

【資料】

関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科における実習実施にあたっての 新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン

関西学院大学人間福祉学部社会福祉学科

関西学院大学人間福祉学部 社会福祉学科におけるソーシャルワーク実習および精神保健福祉援助実習については、新型コロナウイルス感染予防及び感染拡大防止の観点から、下記のとおり対応する。

1. ソーシャルワーク実習および精神保健福祉援助実習に関する基本方針

原則として、新型コロナウイルス感染予防対策を十分に行った上で実習を実施する。その際、学生は「2.」以下の対応を遵守するものとする。

ただし、実習施設・機関(以下、実習先)から要請がある場合や、大学が学生及び実習先の安全確保が困難と判断した場合は、「4.」に基づいて実習先と協議の上、時間短縮や延期を含む実習日程の変更または実習中止の対応をとる。

2. 実習の実施にあたって

<実習開始前の対応>

- (1) 健康管理:実習の2週間前から、毎朝・夕の検温及び感染が疑われる症状がないか確認を行い、健康管理表に記録する。
- (2) 行動管理:実習の2週間前から、「移動履歴表」を記録する。また、以下の3要素を始めとする感染リスクの高い場所に立ち入らないよう努め、不要不急の移動や外出は慎む。①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集空間、③間近で会話や発声をする密接場面は避ける。
- (3) 感染症対策の習慣:手指消毒や咳エチケットなどの基本的な感染症対策を徹底し、マスクを常時装着する。

<実習中の対応>

- (1) 実習中は実習先における感染症対策の指示に従うとともに、石けんまたはアルコール等による手指消毒、うがい、咳エチケットを徹底する。
- (2) 実習中はマスクを着用する。
- (3) 熱中症予防のために水分補給を行う際は、十分な社会的距離を確保した上でマスクを外して対応する。
- (4) 実習中の食事場面においては、食事前後の石けんまたはアルコール等による手指消毒を十分に行った上で、対面での着席、食事での会話、大皿からの取り分けによる食事などを避け、特に感染症対策を徹底する。
- (5) 実習中も「健康管理表」と「移動履歴表」を毎日記録する。※実習先などで質問されたり、所定の「健康管理表」と「移動履歴表」の提出を求められたりした場合は、提出ならびに説明ができるようにしておく。(毎日記録し持参すること)

【資料】

- (6) 発熱や咳、咽頭痛、倦怠感、味覚・臭覚異常などの症状がある場合は、実習先と巡回担当者に連絡し、自宅で静養する。
- (7) その後の対応については、実習先・大学とで協議の上で決定する。

3. 新型コロナウイルス感染が疑われる場合

新型コロナウイルス感染の疑いがある、もしくは同感染者と濃厚接触した疑いがある場合は、居住地に設置されているコロナウイルスに関する相談機関に電話で相談し(各自で調べて連絡できるようにしておくこと)、その指示に従うこと。合わせて巡回担当教員へ連絡すること。

4. 実習の延期または中止の判断について

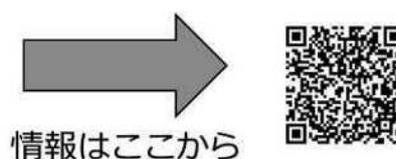
以下の場合、実習先と協議のうえで、実習の延期または中止の判断をする。

- (1) 学生が、新型コロナウイルス感染症と診断されたとき。
- (2) 実習先関係者(利用者・職員など)が新型コロナウイルス感染症と診断されたとき。
- (3) 実習指導に関わる大学教員等が新型コロナウイルス感染症と診断されたとき。
- (4) 学生が同居する家族、またはアルバイト先などにおいて陽性患者が発生した等の結果、当該学生が濃厚接触者となったとき。
- (5) その他、新型コロナウイルス感染症をめぐる大学および実習先(近隣地域を含む)の状況を踏まえ、実習及び実習関連行事の中止が必要であると大学が判断したとき。

5. 本ガイドラインは、2021年7月7日時点のものであり、新型コロナウイルス感染症をめぐる諸々状況を踏まえ、適宜、見直しを行うものとする。

6. 本学では新型コロナウイルス感染症に関する情報と、感染症への対応として、登校停止を含めた対応をホームページ(*)に取りまとめているため、必ず確認すること。

* https://www.kwansei.ac.jp/a_affairs/a_affairs_003723.html



健康管理表

※朝夕の体温を記録し、該当するものに○をつけてください。

学生番号		所属		氏名 (ふりがな)		生年月日	
実習先名称:		実習期間:		月 日 ~ 月 日		年 月 日	
日付	体温	呼吸器症状		呼吸器以外の症状等		備考	
1 /	朝	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
	夕	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
2 /	朝	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
	夕	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
3 /	朝	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
	夕	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
4 /	朝	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
	夕	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
5 /	朝	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
	夕	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
6 /	朝	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
	夕	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
7 /	朝	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			
	夕	異常なし・鼻水・鼻閉・鼻頭痛咳・息苦しさ・その他 ()	咽頭痛咳・息苦しさ・	異常なし・頭痛・寒気・倦怠感・味覚異常・臭覚異常・解熱剤使用・その他 ()			

移動履歴表

学生番号：

実習先名称：

実習期間： 月 日 ~ 月 日

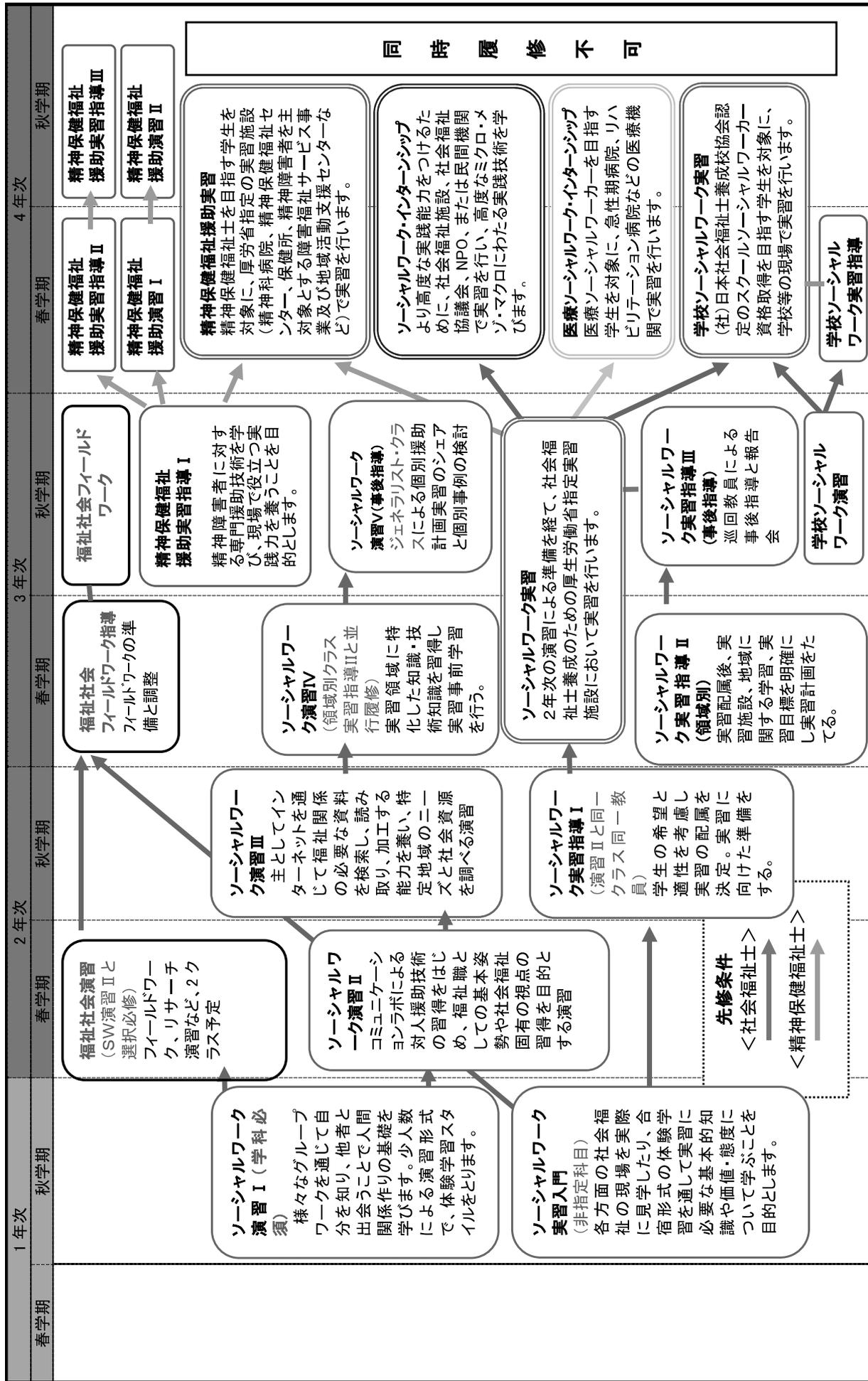
名前：

曜日	日付	時刻	場所	行動歴/接触歴(*)	状況 (活動内容、他者との接触状況、イベント規模、体調不良者の有無等)	同行者や接触者 氏名	同行者や訪問場所の連絡先	備考
記入例	6月16日	①9時~12時 ②13時30分~14時頃 ③16時~17時	①アルバイト (大阪府北区) ②レストラン (大阪府北区) ③O×Sバーガー□店 (兵庫県西宮市)	①接客 ②梅田で風邪症状のある友人(関学はな子氏)と食事 ③買い物	①約30人にマスクをつけた上で接客した ②友人と60分ほど食事と世間話をした ③レジ以外他者との接触なし	①O×主任 ②関学はな子	①06-XXXX-XXXX (勤務先) ②090-XXXX-XXXX (友人)	
月	/							
火	/							
水	/							
木	/							
金	/							
土	/							
日	/							

記入上の注意) 実習予定の2週間前からは、本表を記録してください。
 * 「行動」とは自宅から外出した場合、「接触」とは実際に触れていない場合でも、1m以内の距離で2分を超えて、会話やスポーツ等をすることで、会話やスポーツ等をすることを目安としてください。
 * 「行動」とは自宅に当てはまらないからといって、自宅外での行動や接触を行ってよという意味ではありません。
 * 不要不急の外出は控え、国や大学、学部で場出の内容を確認し、感染の連鎖を断ち切る自覚を持って行動してください。

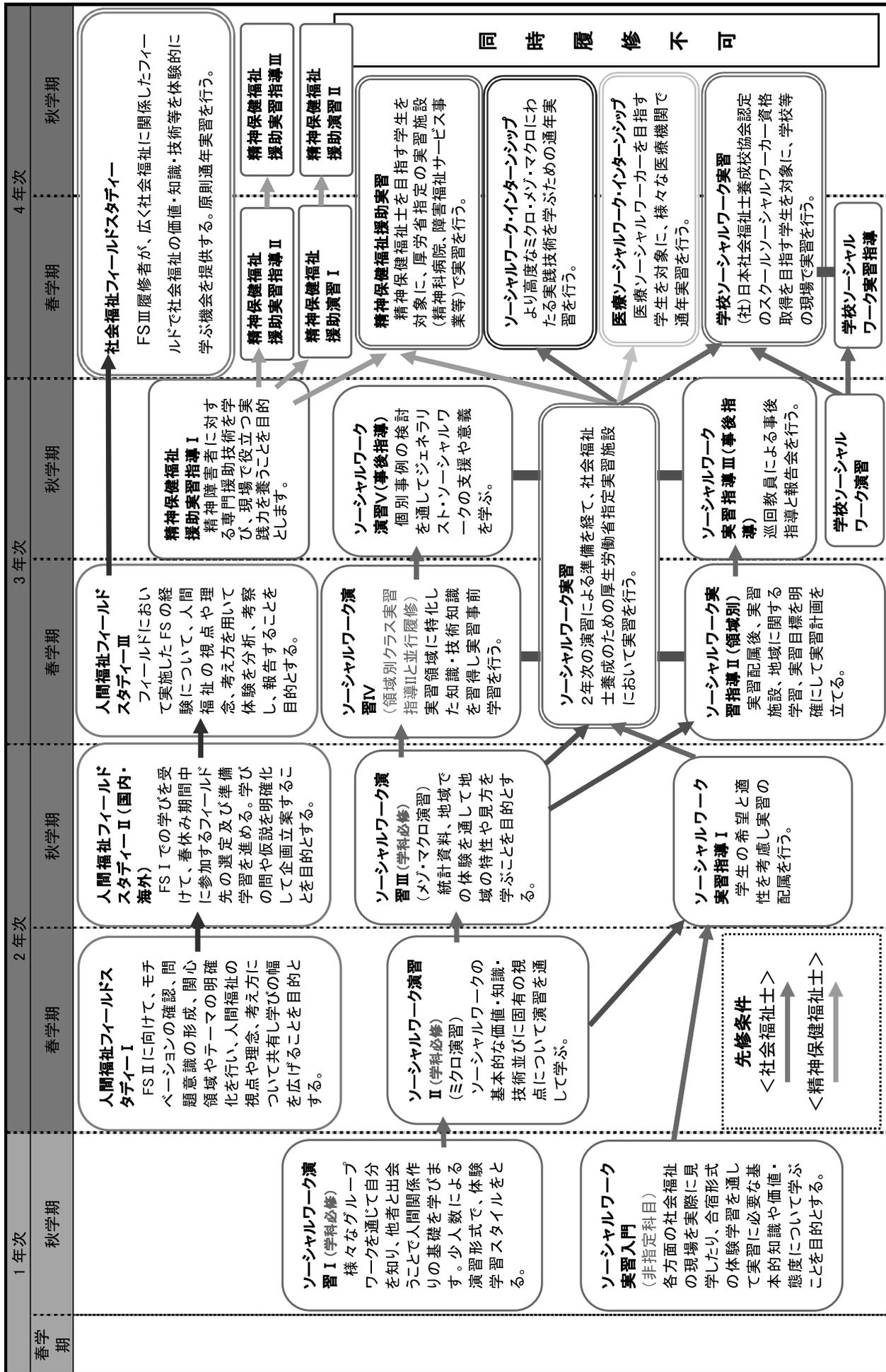
◆社会福祉学科◆

＜社会福祉学科＞ ※2012年度～2019年度入学生対象



同時履修不可

＜社会福祉学科＞ ※2020年度入学生より対象



同時履修不可

精神保健福祉援助実習
精神保健福祉士を目指す学生を対象に、厚労省指定の実習施設(精神科病院、障害福祉サービス等)で実習を行う。

ソーシャルワーク・インターンシップ
より高度なミクロ・メソ・マクロにわたる実践技術を学ぶための通年実習を行う。

医療ソーシャルワーク・インターンシップ
医療ソーシャルワーカーを目指す学生を対象に、様々な医療機関で通年実習を行う。

学校ソーシャルワーク実習
(社)日本社会福祉士養成校協会認定のスクールソーシャルワーカー資格取得を目指す学生を対象に、学校等の現場で実習を行う。

学校ソーシャルワーク実習指導

先修条件
＜社会福祉士＞
＜精神保健福祉士＞

ソーシャルワーク実習入門

【担当教員】川島 恵美、高橋 味央、平尾 昌也、岩間 麻子、金 慧英、熊谷 愛

【授業目的】

本科目は、社会福祉学科における実践教育指導の第一段階として、見学実習を通じて実際に施設・事業者・機関・団体・地域社会等に関する現状把握を行い、基本的な知識を増進させ、現場に関するイメージを持つと同時に、デイキャンプやタウンウォッチングの体験学習を通じて実践教育に必要な人間関係における基本的価値や態度について学ぶことを目的とする。

【授業内容】

○デイキャンプを通じた体験学習

新型コロナウイルスの影響により 1泊2日の合宿は中止とし、学内で3回に分けて代替プログラムとしてデイキャンプを実施した。

日時： 2021年10月16日（土）

・ 9：30～12：30 「第1グループ」

・ 13：30～16：30 「第2グループ」

2021年10月17日（日）

・ 9：30～12：30 「第3グループ」

場所： 関西学院 G 号館

多機能演習室、中央芝生



<プログラム概要>

①セッションⅠ：「自分とかかわる」

ワークシートの記入、グループの分かち合いを通して、改めて社会福祉学科で学ぶことについて考える。

②セッションⅡ：「仲間とかかわる」

ペンタゴン、違うモノ探し、トス・ア・ボール、スカベンジャー・ハントなどのアクティビティを通して、仲間や先輩と交し、自分自身の人との



かかわり方について気づく。

③セッションⅢ：「先輩とかかわる」

- ・人間福祉学部 2～4 回生のラーニングアシスタント計 13 名の体験談をきく。
- ・振り返り、分かち合い。



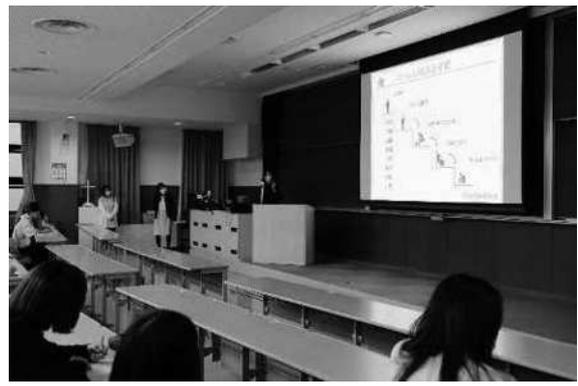
○見学実習

新型コロナウイルスの影響により「リモート見学実習」に切り替え、①事前学習、②リモート見学実習、③ふりかえり・わかちあい会というスケジュールで実施した。

- ① 事前学習では、各実習先施設・機関の概要、分野・領域の制度などについて説明を行ったうえで、記録用紙の書き方、観察記録・レポートの書き方、ふりかえり・わかちあい会についての事前説明を実施した。
- ② リモート見学実習では、指定された地域福祉・障害者・貧困・高齢者・児童・多文化領域の施設・機関との同時双方向による先方とのやりとり、また、映像視聴、インタビュー映像の視聴を通して見学実習を行った。
- ③ ふりかえり・わかちあい会ではグループごとにまとめられた見学先の施設・機関についてのプレゼンテーションを実施し、学生には、ふりかえりシート作成・提出を求めた。

実施日程	方法	リモート見学実習先
10月26日 (火)	同時双方向	NPO 法人 なごみ
		福) 芦屋メンタルサポートセンター
		福) 西宮市社会福祉協議会 地域協生館 ふればの
11月2日 (火)	対面	認定 NPO 法人 Homedoor
	同時双方向	福) きらくえん けま喜楽苑
		福) 神戸真生塾
11月9日 (火)	同時双方向	ANA ウイングフェローズ・ヴィ王子株式会社 働き方企画部
		福) 慶徳会 児童養護施設 子供の家
		NPO 法人 神戸定住外国人支援センター(KFC)

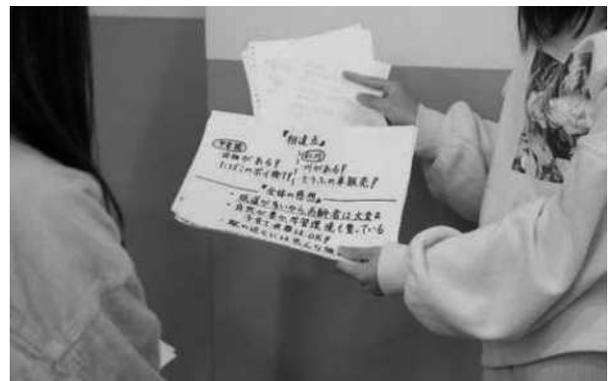
※ 福) 社会福祉法人



○タウンウォッチング

①事前学習、②タウンウォッチング、③ふりかえり会、わかちあい会というスケジュールで実施した。

- ① 事前学習では、予行演習としてキャンパス内ウォッチングを実施した。人が仲良く集まれそうな場所・様子、気になる人・もの・場所・様子、まちの自慢と思うもの、不便と思う人・もの・場所・様子などを見て回った。
- ② 事前学習をもとに、自分たちのまち（市区町村）の基礎データとして面積や人口、高齢化率、歴史や伝統などを調べたうえで、各自タウンウォッチングを実施した。
- ③ ふりかえり会、わかちあい会では、同地域、近隣地域の学生同士でグループワークにより共有を行った後、ワールドカフェ方式で全体共有を図った。



○授業全体の学びの分かち合い

グループワークにより、自身がこの授業で学んだことを各自でふりかえった後、グループ内で共有。共通することなどを分かち合った後、グループごとに発表を行った。



ソーシャルワーク実習

【担当教員】川島 恵美、平尾 昌也

【巡回担当教員】

池埜 聡、井上 みえ、今井 小の実、岡本 みゆき、川島 恵美、風間 朋子、金 慧英、熊谷 愛、児玉 志保、小林 浩司、佐藤 寿一、高橋 味央、中島 尚美、永峰 千鶴、西尾 怜、林 眞帆、原 弘輝、馬場 幸子、平尾 昌也、廣瀬 みどり、福田 孝子、藤井 博志、松岡 克尚、前川 敦、安田 美予子、渡邊 健

【授業内容】

社会福祉士を目指す学生を対象に、厚生労働省指定の実習施設において 180 時間以上の実習を行う。現場実習を通して社会福祉専門職に必要な職業倫理、専門知識、専門援助技術、関連知識を学び、対象者理解および援助技法の適応を試みる。

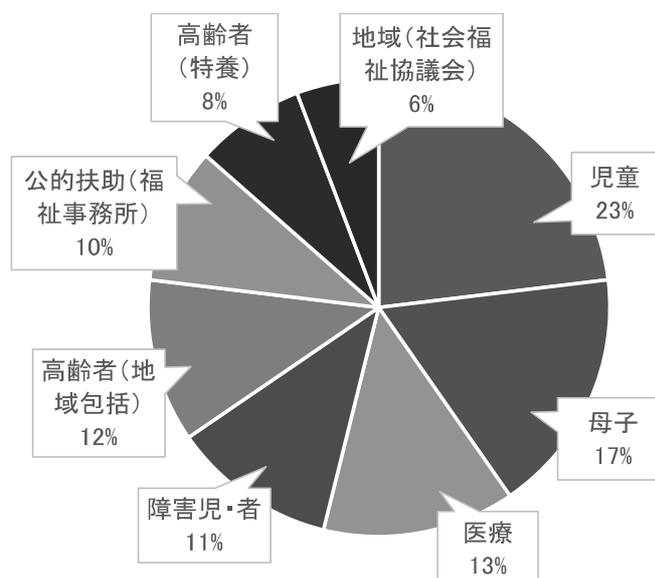
【方法】

実習先施設／機関は公的扶助領域（福祉事務所、救護施設）、児童領域（児童相談所、児童養護施設、児童心理治療施設、児童自立支援施設）、障害領域（児童発達支援センター、障害者支援施設）、母子領域（母子生活支援施設、婦人保護施設）、高齢領域（地域包括支援センター、特別養護老人ホーム）、地域領域（社会福祉協議会）、医療領域（病院）等で、原則として夏期休暇期間中に集中で行うが、場合によっては分散・通年で行う。

実習に先立ち、担当者によるオリエンテーションを行うとともに、実習事前訪問、実習期間中の巡回、帰校指導など定期的にスーパービジョンを行う。

【2021 年度領域別実習配属人数】

児童	12 人
母子	9 人
医療	7 人
障害児・者	6 人
高齢者（地域包括）	6 人
公的扶助（福祉事務所）	5 人
高齢者（特養）	4 人
地域（社会福祉協議会）	3 人
実習生合計	52 人



【ソーシャルワーク実習の流れ】

1. 実習事前指導

児童、母子、高齢（高齢者施設・地域包括支援センター）、障害、公的扶助（福祉事務所、救護施設）、地域、医療領域にわかれて、法制度や施設・機関の沿革、地域特性、利用者理解、支援や援助の方法について学ぶ。また、実習巡回担当者による個別指導で、個人票や実習計画書を作成する。



2. 実習事前訪問

実習が始まる約1ヶ月前に巡回担当教員とともに実習先を訪問する。実習指導者から実習オリエンテーションを受け、具体的な実習目標、実習計画について打ち合わせを行う。



3. 現場実習

職場実習、職種実習、ソーシャルワーク実習という三つのプロセスとその学びから構成されている。

- ・ 職場実習 … 分野、施設、職場に関する学び
- ・ 職種実習 … 社会福祉士が担当している職種や担当業務の学び
- ・ ソーシャルワーク実習 … ソーシャルワーク実践についての学び



4. スーパービジョン

おおむね1週間に1度、担当教員による巡回指導、帰校日指導を受け、実習の達成状況についてのスーパービジョンを受ける。同じ領域で実習している複数の実習生とともにグループスーパービジョンが行われる場合もある。



5. 実習事後指導

巡回担当教員とともに実習の評価、ふりかえりとまとめを行う。事後学習の一環として実習報告会を行う。その後、さらに領域別で報告会を行う場合もある。



精神保健福祉援助実習

【担当教員】松岡 克尚、風間 朋子、加納 光子、光田 豊茂、熊谷 愛

【授業の目的】

精神保健福祉士を目指す学生を対象に、厚生労働省指定の実習施設において配属実習を行う。医療機関（精神科病院、精神科クリニック）1箇所、行政機関（精神保健福祉センター、保健所）、または障害者総合支援法における障害福祉サービス事業、相談支援事業や地域活動支援センター事業を実施する事業所で主に精神障害者が利用する機関に1箇所、あわせて2箇所集中、又は分散形式で実習する（トータルで210時間以上、ただし社会福祉士実習の単位取得済の場合は180時間以上）。

医療から行政、福祉サービスまでの幅広い精神保健福祉の現場において、各機関の役割、患者・利用者の置かれている状況や生活ニーズ、他機関・地域社会との関係、精神保健福祉士の役割と連携についての実際を学び、個別支援計画などの策定を行う。更にそれらを事後学習によって熟成させていくことにより、自ら目指す精神保健福祉士のあり方や精神保健福祉が抱えている課題に対する何らかの方向性を見いだせるようになることを目標にする。

【事前学習、配属実習、事後学習の内容】

春学期には事前学習として「精神保健福祉実習指導Ⅱ」及び「精神保健福祉援助演習Ⅰ」の授業が実施される。授業内容は、各自の精神障害・精神病観、自己覚知の確認から始め、精神医学、精神科薬理学、障害者基本法・障害者総合支援法をはじめとした各種障害者福祉法制度・精神保健福祉法・精神保健福祉士法、生活保護法、国民年金法など関連する社会福祉法制度、コミュニケーション技術、アセスメント、グループワーク、コミュニティワークなどの援助技術や社会学、心理学などの関連知識であり、いずれともにピア方式で学ぶ。

以上の学習の成果を反映させて、個別に実習計画を策定する。配属実習では、配属先実習指導者によるスーパービジョン、助言を受けながら、個別支援計画策定を含めた実習計画の達成を目指してプログラムを遂行していく。実習計画は必要に応じて修正、変更を行う。

秋学期には事後学習として「精神保健福祉実習指導Ⅲ」及び「精神保健福祉援助演習Ⅱ」の授業が実施される。実習前後の授業と実習を通して精神科ソーシャルワーカーとして必要な価値、知識そして技術の基礎を獲得する。

配属実習終了後に、事後学習の一環として、実習計画の達成度報告（実習報告会）、振り返り、デブリーフィング、実践教育報告会、および「実習のまとめ」の作成を行なう。

	春学期	秋学期
(金) IV時限	精神保健福祉実習指導 II	精神保健福祉実習指導 III
(金) V時限	精神保健福祉援助演習 I	精神保健福祉援助演習 II

【精神保健福祉援助実習報告会】

12月11日(土)の午前に、教員、下級生を前に実習生が報告を行った。次年度実習を考えている下級生からも多くの質問があり、実習での学びの総括の場となった。



【実践教育報告会】

12月11日(土)の午後、ポスターセッション方式で実習の報告を行った。他学科や他学年の学生に対するプレゼンテーションを行い、また質問を受けることで、より分かりやすく説明する難しさや新たな視点に気付く場となった。



【事後学習後の成果物（「実習のまとめ」）】

「2021年度精神保健福祉援助実習のまとめ」の構成・編集は実習生自らが行った。

「実習を通して学んだ事・考えさせられたこと、実習後の私」のページや上記の実習報告会の様子もまとめ、1年間の学びの成果を形にした。

医療ソーシャルワーク・インターンシップ

【担当教員】 林 眞帆

【授業内容】

医療ソーシャルワーカーを目指す学生に対して 240 時間以上の医療福祉実習を行うと共に、実習内容と関連させ、実習先と連携を取りながら、医療ソーシャルワーカーに求められる価値倫理、知識、技術の向上を目指す。また実習をより効果的に行うために、知識技術面や精神的サポートを行うことを目的とする。

春学期	主な授業内容
3月	・オリエンテーション（実習時期等検討） ・実習計画書・個人票作成開始
4月	・実習計画書・個人票指導の指導
5月	・病院機能、診療報酬制度、医療費助成や社会資源等に関する学習
6月	・医療機関で必要な社会資源とその活用
7月	・勝手訪問、勝手訪問報告 ・実習先事前訪問 ・インターンシップ開始(7/12～8/27)
8月	・実習内容報告によるディスカッション・指導(1/W) ・巡回訪問指導

秋学期	主な授業内容
9月	・秋学期のスケジュール決め、授業内で深めたいテーマの確認 ・実習目標の達成に関する振り返りとスーパービジョン
10・11月	・ケーススタディとスーパービジョン ・中間報告書の作成 ・中間報告会（実習報告と参加者へのアドバイス）
12月	・報告会資料の作成、リハーサル（スライドの作成・修正） ・医療ソーシャルワーク・インターンシップ報告会・ポスター発表

【中間報告会】

次年度、医療ソーシャルワーク・インターシップを検討している3年生5名の学生に対して主に実習内容と全体的な学びについて報告があった。

本年度のインターンシップ先は回復期リハビリテーション病院であり、小児から成人、高齢者まで障害のあるクライアントへの支援、多職種連携の中でMSWが果たすべき役割などについて報告があった。

また、参加した3年生からは、インターシップ実習の必要性や実習するにあたり注意すべきことなどの質問が出され、ゆったりとした雰囲気の中で実施された。



【領域別報告会・実践教育報告会】

領域別報告会・実践教育報告会は、コロナウィルス感染防止のため、事前申込制で参加人数を制限して行われた。

領域別報告会の参加者は次年度医療ソーシャルワーク・インターンシップを履修する3年生、MSWに関心を持つ2回生、現場のスーパーバイザーの方など計7名であった。

実習報告は実習課題であった「障害受容」について、実際に関わった事例をもとに、「障害受容」の定義や根底にある価値観などについて考察がなされた。障害の受け止めにはクライアント一人一人の個別性があり、そこに向き合うMSWの支援の在り方について考察を深めることができたと報告された。



学校ソーシャルワーク実習

【担当教員】 西野 緑

【授業の目的】

学校現場や関連機関での実習を通して、スクールソーシャルワーク実践に必要とされる知識と技術を習得し、教育現場で起きている様々な問題に対応できる実践力を養うことを目的としている。特に、教職員との連携や具体的な実践方法について理解を深め、スクールソーシャルワーカーとして求められる資質や役割を学ぶ。

なお、以下の内容について、実習指導者（スクールソーシャルワーカー）による指導、教育委員会や学校の指導を受ける。また、実習指導担当教員は、巡回指導を通して、実習指導者と連絡を取り合い、学生の個別指導を行う。

【授業内容】

1. 実習の導入期
 - ア. 人間関係の構築
 - イ. 実習目的の明確化
 - ウ. 学校、教育委員会などの基本的な理解を深める。学校という場を実感する。

2. 実習の展開期
 - ア. 援助関係の形成（マイクロレベル）
 - イ. ケース会議の実際などを学ぶ（メゾレベル）
 - ウ. 関係機関を含めたチームアプローチの方法を学ぶ（メゾレベル）
 - エ. 市町村の子ども相談体制とのつながりを学ぶ（マクロレベル）

3. 実習の終結期
 - ア. 学生自身が関わりを持った事例について整理し、発表を行う。
 - イ. 実習指導者からのフィードバックをもらい、実践の自己評価を行う。

【学校ソーシャルワーク実習に関連する科目】

○学校ソーシャルワーク実習指導（担当：西野緑）

実習機関である教育現場での実習に向けて、学校や学校組織についての理解を深め、スクールソーシャルワーカーとして求められる役割を果たすための資質とスキルを習得することを目的とする。

【学校ソーシャルワーク実習報告会の様子】



【実践教育報告会の様子】



ソーシャルワーク実習指導Ⅱ

【担当教員】

池埜 聡、井上 みえ、今井 小の実、岡本 みゆき、川島 恵美、風間 朋子、金 慧英、熊谷 愛、児玉 志保、小林 浩司、佐藤 寿一、高橋 味央、中島 尚美、永峰 千鶴、西尾 怜、林 真帆、原 弘輝、馬場 幸子、平尾 昌也、布施 響、廣瀬 みどり、福田 孝子、藤井 博志、松岡 克尚、前川 敦、安田 美予子、渡邊 健

【授業目的】

180時間のソーシャルワーク実習に向けて具体的な学習、態度、心身の健康について準備を行い、実りある実習が行えるようにすることを目的とする。尚、ソーシャルワーク演習Ⅳ（領域別実習準備学習のクラス）と内容的に関連があるため一体のものとして行う。

【到達目標】

- 1) 実習巡回担当教員との信頼関係を作る
- 2) 個人票、実習計画書を作成する
- 3) 実習記録の作成について学ぶ
- 4) 実習に必要なマナー、社会的行動について学ぶ
- 5) その他、実習に必要なとされる準備を行う

【2021年度 授業内容】

回	日時	4限 実習指導Ⅱ	5限 演習Ⅳ
1	4/8	【領域合同】 ：オリエンテーション ・実習の心得 ・SW実習指導Ⅰアクションプランの評価 ・教員紹介	
2	4/15	【領域合同】 実習要綱を用いた説明	クラスオリエンテーション クラス別授業（1）
3	4/22	【領域合同】 実習計画書の書き方	クラス別授業（2）
4	5/6	巡回教員個別指導（1） （個人票、実習計画書）	クラス別授業（3）
5	5/13	巡回教員個別指導（2） 実習計画書	クラス別授業（4）
6	5/20	巡回教員個別指導（3） 実習計画書	クラス別授業（5）
7	5/27	【領域合同】 記録（実習日誌）の書き方	
8	6/3	巡回教員個別指導（4） 実習計画書	クラス別授業（6）
9	6/10	巡回教員個別指導（5） 実習計画書	クラス別授業（7）
10	6/17	巡回教員個別指導（6） 実習計画書	クラス別授業（8）
11	6/24	【領域合同】 接遇・マナー講座	クラス別授業（9）
12	7/1	巡回教員個別指導（7） 実習計画書	クラス別授業（10）
13	7/8	巡回教員個別指導（8） 実習計画書	クラス別授業（11）
14	7/15	【領域合同】 <実習 kick off>	

ソーシャルワーク演習Ⅳ

【担当教員】 下表参照

【授業目的】

現場実習に向けて、基礎的な知識や技術を習得することを基本として、さらに実践的な姿勢・考え方を演習というスタイルで学んでいくことを目的とする。実習指導Ⅱと関連性・つながりももって、学びを深めていく。

【到達目標】

本演習は実習の配属先を「領域別に分けたクラス構成」により、それぞれの現場に特化した内容で、実習を充実したものとするために事前準備としての演習を行う。

1. ソーシャルワーク実習の意義を理解する。
2. 各領域における必要な技術・知識を習得する。
3. 福祉に関する総合的かつ包括的な「相談援助職としての自覚」を促し、「専門職として求められる資質、技能、倫理」を身につける。
4. 実習を通じて「自分に求められる課題」を把握し、総合的に対応できる能力を身につける。
5. 演習における事例検討から、実践的な対応力・判断力、さらに包括的・全体的な視点を学び、身に着ける。

	担当教員	授業目的・目標	授業内容
児童領域	高橋 味央	<ul style="list-style-type: none">○ ソーシャルワーク実習の目的と意義を理解する○ 実習先の機関・施設について、その機能と役割を学ぶ○ 児童領域の現場実習に必要とされる知識・技術を体得する○ 児童領域の現場実習に特化したマナーやソーシャルスキル等を学ぶ○ 実習の心構えや積極的な学習姿勢を養う	<ul style="list-style-type: none">● 児童領域(児童相談所、児童福祉施設等)の概要● 児童領域のソーシャルワークの実際● 子どもと家庭への支援(児童虐待、愛着理論、発達理論、多職種連携とネットワークについて)● 事例検討● 自立支援計画書の書き方● 実習計画書についてのプレゼンテーション
医療領域	藤田 譲	<ul style="list-style-type: none">○ 医療制度の概要を把握して、実習施設の機能・特徴を説明できる○ 保健医療領域におけるソーシャルワーク実践の現状と課題を把握するソーシャルワーク実践において必要な知識・技術について説明できる	<ul style="list-style-type: none">● 医療の仕組みと実習施設の理解● 医療の現状とMSWの思い● 医療ソーシャルワークの実際● 医療のあり方とソーシャルワークの価値

母子領域	中島 尚美	<ul style="list-style-type: none"> ○ ソーシャルワーク実習の意義を理解する ○ 社会福祉専門職としての価値・倫理・態度を学ぶ ○ 主体的な学習行動と積極性を養う ○ 実習を通じて「自分に求められる課題」を把握し、総合的に対応できる能力を身につける ○ 母子領域における支援に必要な知識・技術を具体的かつ实际的に理解し体得する ○ 利用者理解の視点を養う ○ 情報の捉え方とアセスメント力をつける 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会的養育の概念と社会的養護の法体系、ひとり親施策の概要理解 ● 母子生活支援施設と婦人保護施設における支援の理解 ● 支援に必要な基礎知識の理解と課題の抽出 ● 生活の視点を活かした実習先施設の下見及び地域探索のレポート作成と発表 ● 子どもの育ちの理解 ● アセスメントにおける利用者理解とストレスの視点の解説とワークシート作成 ● ケーススタディ
高齢領域 (施設)	永井 文乃	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習において、価値・知識・援助技術といった多岐にわたる学習を効果的に行うための準備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現場実習手続きの基礎知識、マニュアルの把握 ● 専門知識(①介護保険制度と各機関・施設・在宅サービスの位置づけ、②高齢者の疾病・障害の理解、認知症とその対応) ● 直接援助技術(①アセスメントの視点、介護サービス計画の作成、②コミュニケーション技術・演習) ● 実習における態度(実習指導者・スタッフとの関わりかた、SST、記録の書き方) ● 介護サービス利用者との面接実践(オンライン)
高齢領域 (包括)	渡邊 健	<ul style="list-style-type: none"> ○ ソーシャルワーク実習の意義を理解する ○ 実習において必要な技術・知識を習得する ○ 福祉に関する総合的かつ包括的な「相談援助職としての自覚」を促し、「専門職として求められる資質、技能、倫理」を身につける ○ 実習を通じて「自分に求められる課題」を把握し、総合的に対応できる能力を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護保険制度：全体像、地域包括支援センター ● 高齢者の理解 認知症について ● 高齢者を取り巻く環境の理解：家族、近隣、地域 ● 総合相談支援：相談の受理～面接～援助関係の構築 ● 介護予防マネジメント ● ケアマネジメント支援：地域における連携、協働の体制づくり ● 権利擁護と成年後見制度 ● 機関見学・実践紹介と実習生に求める視点
障害領域	井上 みえ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障害領域の実習に直結する知識・技術を体得する ○ 実習に必要とされる価値・倫理・態度を学ぶ ○ 感性を磨き「体とこころ」を動かせるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ● 障害領域オリエンテーション ● 身体障害者・児の理解と支援 ● 障害のある方を招いて ● 知的障害者・児の理解と支援 ● 発達障害(自閉症スペクトラムなど)の理解と支援 ● 精神障害者・児の理解と支援 ● 障害福祉の制度をライフワークを通して学ぶ ● 障害の受容過程と対人援助 ● 先輩の話

公的扶助 領域	前嶋 弘	<ul style="list-style-type: none"> ○ ソーシャルワーク実習の意義について理解する ○ ソーシャルワークの「原則」「知識」「技術」について、实际的に理解する ○ 「地域共生社会」の実現に向けて社会福祉士に求められることを踏まえ、自分自身の課題を把握し、これを実践できる力を獲得する ○ 社会福祉に関する実際の体験や活動を、理論やモデルを用いて理解し説明できるようになる ○ 公的扶助領域の施策、事業、組織、行財政に関する現状と課題を理解する ○ 自分自身の実習テーマを見出し、それを織り込んだ実習計画書を作成する ○ 実習先で求められるマナーや配慮を理解し適切な振舞いができるようになる 	<ul style="list-style-type: none"> ● ソーシャルワーク実習の意義と進め方の理解 ● 地域共生社会の実現に向けた社会福祉士の役割の理解 ● 実習分野とクライアント、関係機関、団体、地域社会等に関する基礎的理解 ● ソーシャルワーク実習で必要になる知識や技術の理解 ● 地域の概要と福祉事務所の組織や業務に関する調査・発表 ● 現場体験学習や見学 ● プライバシーの保護と守秘義務等の理解 ● 「実習日誌」の内容と記録方法に関する理解 ● 実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との協議を踏まえた実習計画の作成 ● ゲストスピーカーによる講義 ● 実習記録や実習体験を踏まえた課題の整理と実習総括レポートの作成
地域福祉 領域	佐藤 寿一	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実習にあたっての基本的な姿勢と技術、記録の書き方等の技術を養う ○ 地域福祉と関連福祉制度、社会の動向について理解する。 ○ 社会福祉協議会の歴史・個別支援・地域福祉活動に関する知識を養う ○ 地域の固有性に根差した実習計画書作成を行う ○ 地域福祉実践で起こる課題に対して、学習した知識・技術との関連を認識できるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実習に対する動機づけ ● 個人票・実習計画書の書き方 ● 地域福祉計画と地域福祉活動計画・事業計画 ● 社会福祉協議会がおこなう実践について ● CoW と CSW ● コーディネーションとネットワーキング ● 実習計画発表 ● フィールドワーク発表 ● 事例検討

ソーシャルワーク実習指導Ⅲ

【担当教員】

池埜 聡、井上 みえ、今井 小の実、岡本 みゆき、川島 恵美、風間 朋子、金 慧英、熊谷 愛、児玉 志保、小林 浩司、佐藤 寿一、高橋 味央、中島 尚美、永峰 千鶴、西尾 怜、林 眞帆、原 弘輝、馬場 幸子、平尾 昌也、廣瀬 みどり、福田 孝子、藤井 博志、松岡 克尚、前川 敦、安田 美子子、渡邊 健

【授業内容】

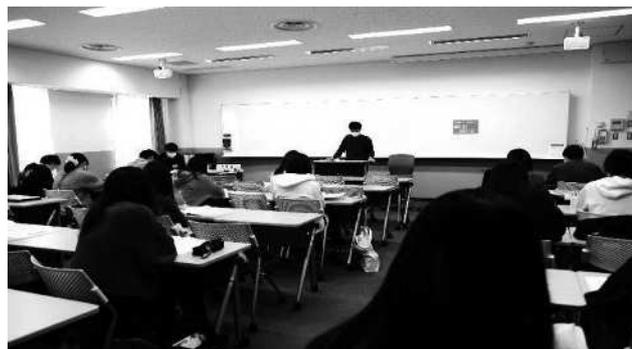
ソーシャルワーク実習において体験した内容のふりかえりとまとめを行い、具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術として概念化し、理論化し、体系立てていくことができる能力を養うことを目的とする。授業では、①実習振り返り、②実習レポート作成、③次年度履修予定学生に向けたソーシャルワーク実習報告会、④領域別報告会、⑤実践教育報告会でのポスター発表を実施した。以下は、その主な概要である。

【実習振り返り】

実習振り返りでは、①実習アンケートや評価票を通じての自己評価を行う事、②実習中のモチベーションを図るシートの作成を行う事、以上2点を通じて、実習レポートの作成およびソーシャルワーク実習報告会や領域別報告会で報告するための整理を行った。また、報告会に向けてのプレゼンテーション指導も実施した。

【ソーシャルワーク実習報告会】 日時：2021年10月30日（土）場所：G号館各教室

ソーシャルワーク実習報告会は、次年度ソーシャルワーク実習履修を希望している学生に対して、実習生自身の具体的な実習体験を報告する場である。この報告会を通して実習を終えた学生はフィードバック機会を得ることができ、次年度実習予定の学生は、関心のある実習領域について話を聞くことができた。また、次年度の実習生にとっては、実習の具体的なイメージをつかむことができ、事前学習への意欲を高める機会となった。



【実践教育報告会】 日時：2021年12月11日（土） 場所：G号館各教室

実践教育報告会は、社会福祉学科、社会起業学科、人間科学科の3学科の学生が合同でそれぞれの実践教育を報告する場として学びを交流することを目的に開催されている。

2018年度からはSW実習履修生も実践教育報告会に参加し、領域毎にポスター発表を行っている。2021年度は52名のSW実習履修生が発表を行った。報告会終了後は、他の実践教育の報告を通して感じたことや気付いたことを共有、意見交換を行った。



【報告会実施に際しての感染防止対策】

<ソーシャルワーク実習報告会>

- ・ 学生の長時間滞在を避けるため、午前中に報告会が終了するようタイムスケジュールを再編成し（3部構成・各部30分程度）、各部の報告者数および報告時間を制限した。
- ・ 昨年度に引き続き、報告会終了後、各領域で報告者および次年度実習生が懇談する「茶話会」は、感染防止のため中止とした。
- ・ 本番2週間前から、参加学生に対し検温および移動履歴の記録を実施するよう促した。
- ・ 感染症クラスターが発生した場合に備え、参加学生には、聴講希望領域を事前に調査した。また、各会場の参加者・報告者の人数を制限し、学生の移動を管理した。
- ・ 当日は、学生・教職員ともに原則マスク着用の上、ソーシャルディスタンスを保って着席すること、休憩時間中の移動は速やかに行うことを徹底した。
- ・ 参加教員への当日説明を事前に録画し、当日指定の教室で映像を確認するよう対応した。

ソーシャルワーク演習Ⅴ

【担当教員】川島 恵美、橘高 通泰、高橋 味央、平尾 昌也

【授業目的】

本演習の目的は、ソーシャルワーク実習で学んだ具体的な対人援助の場面や個別支援計画の内容を持ち寄り、ジェネラリスト・ソーシャルワーク（ソーシャルワークの基礎基盤）の視点と意義、総合的かつ包括的なソーシャルワークの意義を学ぶことである。実習を終えた各領域の学生で構成される演習クラスで、各自が抱える・考察すべき実習の内容・課題・疑問点を報告・共有する。さらに一領域の事例を各領域の観点から再検討するプロセスを通じて、ジェネラリスト・ソーシャルワークの本質を探究する。学びを深めるための留意点は「第一に、メゾ・マクロ視点（地域社会・施設機関・法人・法制度の存在と役割に焦点をあてる等）とミクロの視点（対人援助・人間理解に必要とされる価値と倫理・知識・技術に焦点をあてる等）に注視すること。第二に、現場実習での実体験に基づく学びを捉えなおし、ソーシャルワーク実践を広く・深く考察すること。第三に、クラス報告をするにあたり、現場実習・実践の情報を十分に再収集（アセスメント）・再確認し、現実的視点から再検討すること。」である。

【授業内容】

- ジェネラリスト・ソーシャルワーク
- 社会福祉士の基礎基盤
- 実習事例の活用と検討
- ソーシャルワーク実習体験のふりかえりと総括

【学びの方法】

- 概念を理解する学習
- 体験を振り返る学習
- グループワーク学習

【スケジュール】（抜粋）

- 第1回：オリエンテーション1 「演習の学びの姿勢・評価方法」、「演習での学びとそのスタイルとは何か」、実習のふりかえりとワークシートⅠ記入作成
- 第2回：オリエンテーション2 「ジェネラリストソーシャルワークとは何か」、ワークシートⅠの確認
- 第3回：ソーシャルワーク実践の視点及びケーススタディ、ワークシートⅡの記入
- 第4回～第9回：各事例について討議及び検討

- 第 10 回：グループワーク 1 これまでの演習のふりかえり、あるテーマ・事例からひとつの事例を出し、個別支援計画、メゾ・マクロレベルの支援計画を考え合う
- 第 11 回：グループワーク 2 在日外国人支援を考える～総合的かつ包括的なソーシャルワーク実践から～
- 第 12 回：ゲストスピーチ（在日外国人の視点からみた支援の現状や課題）
- 第 13 回：在日外国人のもつニーズや課題に対応するプログラムを考える：グループワークプレゼンテーションの準備
- 第 14 回：グループワークのプレゼンテーション まとめと振り返り

ソーシャルワーク論B

【担当教員】高橋 味央、平尾 昌也

【授業内容】

社会福祉を学び始める学生（1年生）が、社会福祉における分野・職種、専門職・資格、援助・実践など、社会福祉に関する基礎的内容と実際を広く学び、その後（2年生以降）の専門的な理論と実践の学びにつながる導入教育を講義目的とする。専門職であるゲスト講師から、施設・組織の運営管理の実際、専門職の業務・実践の実際、利用者や家族の生活とニーズなどを具体的に伺うことで、社会福祉・ソーシャルワークについてより現実的・具体的に理解できるようになる。今年度も春学期に行い、11名のゲストスピーカーにご講義いただいた。

【2021年度 スケジュール】

回	月 日	内容及びゲスト	分野・領域・キーワード
1	4月13日	オリエンテーション（講義概要・講師紹介・評価方法）、 SW論Bの学習スタイル、社会福祉の専門職・専門性、 社会福祉分野の紹介、社会福祉の資格、仕事・現場の実際	
2	4月20日	NPO 法人大阪ダルクディレクター/Freedom 代表 倉田 めば氏	精神保健福祉 薬物依存・当事者
3	4月27日	社会医療法人 平和会 地域包括ケア推進事業部 事業部長 高落 敬子氏	認知症 高齢者支援
4	5月11日	社会福祉法人 ライフサポート協会 住吉総合福祉センター 館長 原田 徹氏	障害者福祉
5	5月18日	社会福祉法人 池田市社会福祉協議会 地域福祉課 事務局次長 茂籠 知美氏	地域福祉
6	5月25日	KGソーシャルワーク研究会 丸谷 美紀氏 ほか	福祉全般・就職
7	6月1日	中間ふりかえり	中間総括 参加型
8	6月8日	社会福祉法人 みおつくし福祉会 リアン東さくら園 元施設長 廣瀬 みどり氏	母子生活支援
9	6月15日	神戸保護観察所 首席保護観察官 泉 佳孝氏	更生保護・ 保護観察
10	6月22日	医療法人協和会 協立温泉病院 地域医療連携室 渡邊 成吾氏	MSW

11	6月29日	神戸市中央区役所 保健福祉部こども家庭支援課こども保健係 永井 友基氏	児童福祉
12	7月6日	幸重社会福祉士事務所 代表 幸重 忠孝氏	スクールソーシャル ワーク
13	7月13日	尼崎市 健康福祉局 疾病対策課 こころのケア担当 宮本 晃子氏	公務員福祉職 ケースワーク
14	7月20日	全体ふりかえり・総括	全体総括 参加型

ソーシャルワーク論F

【担当教員】平尾 昌也、高橋 味央

【授業内容】

ソーシャルワーク実習を終了した者を主な対象にして、社会福祉及び保健・医療機関の機関機能、それぞれの利用者の支援内容、それと関連した社会資源活用・調整・開発、および連携・ネットワークングを取り上げて、事例分析を行う。これらを通してソーシャルワーク実習で得られた知識の再確認と一層深めることを目的とする。具体的には社会福祉各法・関係法に基づく社会福祉施設・機関、保健・医療機関等の各領域から実践経験のある講師をお招きし、各2回ずつ、それぞれの実践現場における相談援助・支援の実際について取り上げ、その事例分析を行う。

【2021年度 スケジュール】

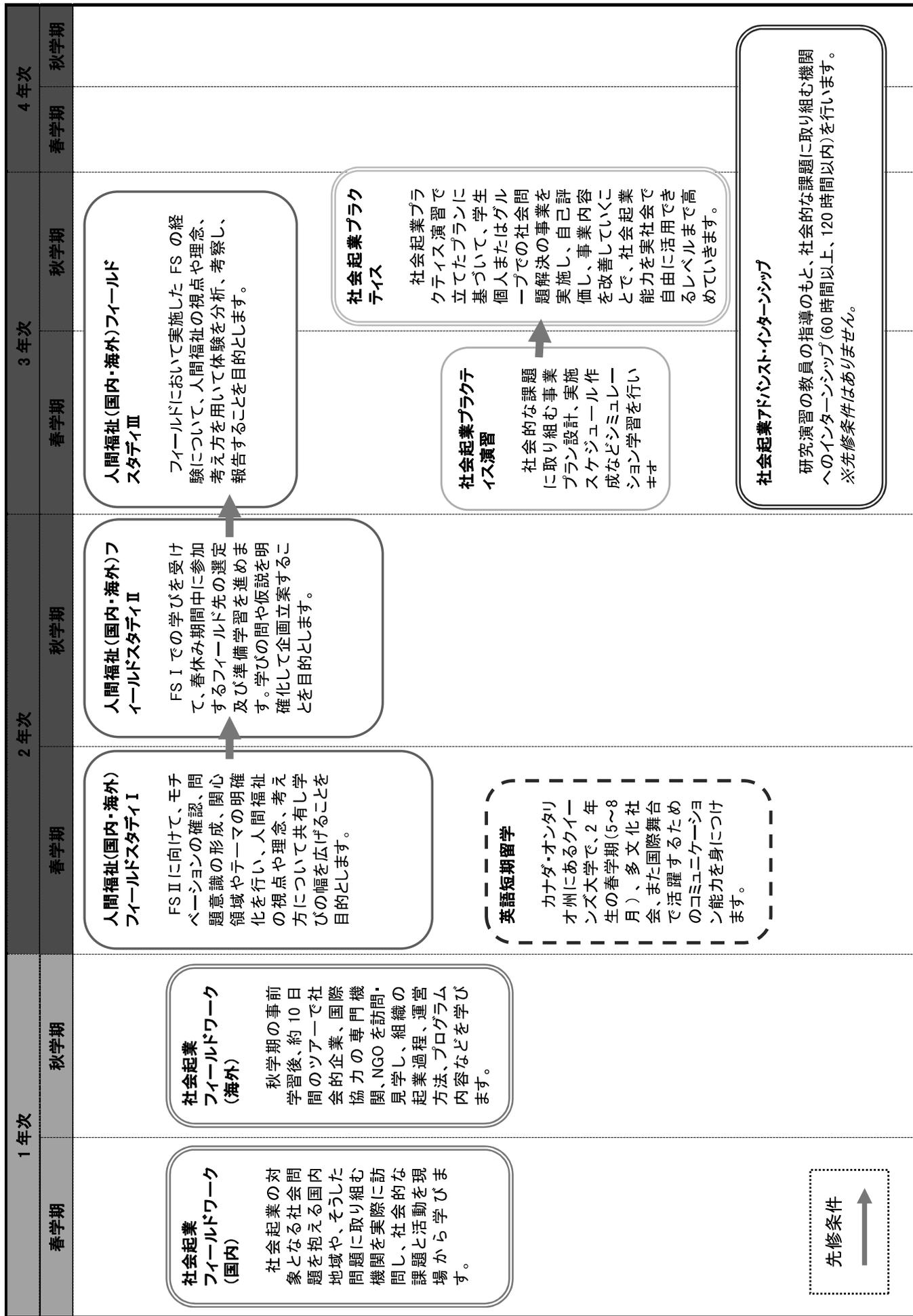
回	月 日	領 域	指導担当
1	9月29日	精神保健福祉領域	山野 仁美
2	10月6日	精神保健福祉領域	山野 仁美
3	10月13日	障害者福祉領域	古井 克憲
4	10月20日	障害者福祉領域	古井 克憲
5	10月27日	児童福祉領域	丸谷 美紀
6	11月10日	児童福祉領域	丸谷 美紀
7	11月17日	医療福祉領域	藤田 譲
8	11月24日	医療福祉領域	藤田 譲
9	12月1日	高齢者福祉領域	加戸 陽子
10	12月8日	高齢者福祉領域	加戸 陽子
11	12月15日	公的扶助領域	梶原 秀晃
12	12月22日	公的扶助領域	梶原 秀晃
13	1月12日	総括	平尾 昌也

◆社会起業学科◆

＜社会起業学科＞ ※2012年度～2019年度入学生対象 「実践教育プログラムの流れ」

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
<p>社会起業 フィールドワーク (国内)</p> <p>社会起業の対 象となる社会問 題を抱える国内 地域や、そうした 問題に取り組む 機関を実際に訪 問し、社会的な課 題と活動を現場 から学びます。</p>	<p>社会起業 フィールドワーク (海外)</p> <p>秋学期の事前 学習後、約10日 間のツアーで国 際協力の専門機 関やNGOを訪 問・見学し、組織 の起業過程、運 営方法、プログラ ム内容などを 学びます。</p>	<p>英語短期留学</p> <p>カナダ・オンタ リオ州にあるクイ ーンズ大学で、2 年生の春学期(5 ～8月)、多文化 社会、また国際 舞台で活躍する ためのコミュニケ ーション能力を 身につけます。</p>	<p>社会起業 インターンシップ 演習 (国内・海外)</p> <p>次年度のインター ンシップに向けた事 前学習として、インタ ーンシップ先分野の リサーチや必要とな る情報収集、インタ ーンシップ計画書の 立案などを行い、発 表やデイスカッショ ン、教員による指導 を通して、自らのイン ターンシップのイメー ジを確立させていき ます。</p>	<p>社会起業 インターンシップ (国内・海外)</p> <p>社会起業インターンシップ演習での事 前学習に基づき、春季または夏季休暇 中に国内外の機関で4週間～6週間前 後のインターンシップを行い、国内外で の社会起業・社会貢献に必要な知識や 技法を学んでいきます。</p>	<p>社会起業プラクティス (春学期)</p> <p>社会起業プラクティ ス演習で立てたプラン に基づいて、学生個人 またはグループでの社 会問題解決の事業を 実施し、自己評価し、 事業内容を改善してい くことで、社会起業能力 を実社会で自由に活用 できるレベルまで高め ていきます。</p>	<p>社会起業アドバンス・インターンシップ</p> <p>研究演習の指導のもと、3年次および4年次に各々の目的にあった 機関へのインターンシップを行います。</p> <p>※社会起業インターンシップ(国内・海外)とは独立した科目であり、先修条 件にもなっていません。</p>	<p>先修条件</p> <p>↑</p>

＜社会起業学科＞ ※2020 年度入学生より対象 「実践教育プログラムの流れ」



社会起業フィールドワーク（国内）

【担当教員】 白波瀬 達也、村井 琢哉

【授業の目的】

この授業の目的は、次の2点である。1点目は、国内で問題となっている多様な社会的課題の実情と向き合い、課題に直面している当事者や課題解決に取り組んでいる団体・人々から社会や生活、地域の現実を積極的に学び取ることを通じて視野を広げ、問題意識を深めることである。2点目は、社会起業に関する基本的な知識や価値観などを習得して、さらに専門的な科目の履修へ向けた心構えをすることである。

【授業の内容】

1. 事前調査

団体の設立経緯や組織、活動の内容をはじめ、その団体が取り組む社会的課題やその課題が生まれる背景、その団体以外にも同じような社会的課題にどのような取り組みがなされているのかなどについて、LAのサポートのもと、グループごとに調査した。

2. 現地調査（FW先により、現地訪問・オンラインのいずれかで実施）

事前調査内容にもとづき、現地訪問の場合は下記団体の事務所およびフィールドを実際に訪問し取材を行った。オンラインの場合はオンラインでの取材を行った。

3. 事後報告

各グループでスライドを作成し、2クラス合同の報告会でプレゼンテーションを実施した。スライドは実践教育報告会でのポスターにしてポスター発表を行った。

<フィールドワーク先>

【村井クラス】

日程	FW 先	テーマ・課題
6月12日	特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝(オンライン)	まちづくり、子ども支援・人権
	一般社団法人タウンスペース WAKWAK	子ども・社会的排除・差別問題
6月19日	バザールカフェ	コミュニティ・人権・社会的排除・依存症・LGBT
6月26日	福島県：NPO 法人 富岡町3・11を語る会(オンライン)	災害・被災
	NGO 神戸外国人救援ネット/マサヤンタハナン/神戸アジア食堂バル SALA	外国にルーツのある方への支援

【白波瀬クラス】

日程	FW 先	テーマ・課題
6月21日	特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構	稼働年齢層の就労支援
7月1日	大阪府簡易宿所生活衛生同業組合	コミュニティビジネス、観光
7月3日	NPO 法人 サポートィブハウス連絡協議会	生活困窮者の居住支援
7月5日	認定特定非営利活動法人 こどもの里	子どもの支援、権利擁護
	西成区役所	まちづくり・都市政策

社会起業フィールドワーク（海外）

【担当教員】 森重 裕子

新型コロナウイルスの影響により海外渡航ができず、オンライン融合プログラム (VE/Virtual Exchange) として実施。

【授業の目的】

オンラインでルワンダと結んで実施する集中的ワークショップを通じて、ルワンダの社会問題やその解決に取り組む社会的企業や事業について学ぶ。さらに、現地の大学生とコミュニティ幼稚園のプログラムを開発して実際に実施することにより、できるだけフィールドから学び、異文化交流を深めることを目指す。

ルワンダ側ファシリテーション：KISEKI 山田美緒氏

【授業のスケジュールと内容】

オリエンテーション： 下記2回の同内容のオリエンテーションのうち、どちらかに参加

9月21日（火）	昼休み (12:50-13:10)	オンラインでのオリエンテーション
9月22日（水）	昼休み (12:50-13:10)	オンラインでのオリエンテーション

集中講義

2月17日（木）	15:00-18:30	自己紹介とグループ分け、ルワンダについて調べて発表する。
2月18日（金）	15:00-18:30	ルワンダ側コーディネーターでもある社会的企業「Kiseki」の取り組みを中心にルワンダの社会課題や社会的起業について学ぶ。
2月21日（月）	15:00-18:30	日本とルワンダの大学生顔合わせ。コミュニティ幼稚園の現状と課題の説明を受けた後、Kisekiのファシリテーションで課題解決のアイデア出しを行い、計画するプログラムの方向性を決める。
2月22日（火）	15:00-18:30	プログラム案作成
2月24日（木）	15:00-18:30	日本xルワンダのプログラム案プレゼンテーションの後、実際に実施するプログラム計画を完成させる
2月25日（金）	15:00-18:30	プログラムの練習と打ち合わせ
2月28日（月）	15:00-18:30	幼稚園でのプログラム実施（30分）と振り返り、後半は打ち上げ（ダンスや歌など）

*ただし、ルワンダが期間中にロックダウンとなった場合、ルワンダ側の参加大学生は自宅からスマートフォンを使用したオンライン参加となる予定である。また、プログラムを実施予定の幼稚園は閉園となるため、一旦、KISEKI 現地スタッフ女性の子どもたちへプログラムを実施し、ロックダウン終了後に幼稚園にて実施することとする。

*2022年1月27日から2月20日まで、兵庫県においてまん延防止等重点措置の実施が決定したため、2月17日と18日の授業は、関学側も同時双方向オンラインで実施することを決定した。2月21日以降の授業をオンラインで継続するか、対面授業に切り替えるかは、18日に決定するものとする。(2022年1月28日日本原稿執筆時点)

社会起業インターンシップ（国内）

【担当教員】 生田 正幸、澤田 有希子、松本 浩美、村井 琢哉

【授業目的】

この講義では、2年次のインターンシップ演習における事前学習を踏まえ、国内の社会的企業、NPO、福祉・教育関係機関及び団体、公的機関、民間企業などにおいてインターンシップを行うことを目的とする。併せて、事前訪問、インターンシップ計画の作成、事前学習、事前学習報告会、事後学習、インターンシップ報告書の作成、クラス内報告会の開催などを行う。

【スケジュール】

春期休暇期間

- ・ インターンシップ（8名 ＊インターンシップ先については巻末参照）
- ・ 教員によるスーパービジョン

春学期

- ・ インターンシップに関する事後指導
- ・ クラス内報告会でのプレゼンテーション

秋学期

- ・ 学生企画講演会の企画、進行
- ・ インターンシップ報告書の作成
- ・ 「2021年度人間福祉学部実践教育報告会」での報告（ポスターセッション）

【実践教育報告会での報告の様子】



社会起業インターンシップ（海外）

【担当教員】 武田 丈

【授業の目的】

この科目は2年次の海外インターンシップ演習を踏まえて、春季または夏季休暇期間に海外のソーシャルサービス関連の専門機関や NGO においてインターンシップを行う科目であるが、今年度は新型コロナウイルスの影響でインターンシップ先を国内の多文化共生・国際協力に関連する機関に切り替えて、3名の学生がインターンシップを行った。

【授業内容】

春学期 国内の機関でのインターンシップに切り替えるための準備、事前学習、プレゼンテーション、準備など
夏季休暇から 120時間の国内でのインターンシップ開始
秋学期 振り返り、報告書作成、実践教育報告会でのポスターセッションの準備など

【実践教育報告会での報告の様子】



社会起業アドバンスト・インターンシップ

【担当教員】 澤田 有希子

【授業目的】

この授業は、学生自身がこれまでの大学生活の中で学んで来たこと、現場で経験してきたことを踏まえて、様々なフィールドでインターンシップを行うことで、現場における実践経験と大学の講義等を通して得た学びを深めていくことを目的とした科目である。

NPO や NGO、社会的企業、地域活動団体などにおけるインターンシップを通して、自分自身が立てた研究テーマを追求することが目標となる。

今年度は2名の学生が履修し、「NPO 法人神戸定住外国人支援センター ふたば国際プラザ」(1名)、「株式会社ツナグム」(1名)で、アドバンスト・インターンシップを行った。

【授業内容】

春学期

- ・インターンシップに向けた事前学習
- ・インターンシップ計画書作成
- ・事前訪問とインターンシップ内容の相談

夏期休暇期間

- ・インターンシップ実践 (通年)
- ・教員によるスーパービジョン

秋学期

- ・インターンシップ報告と振り返り

<日程・インターンシップ先・テーマ>

日程	インターンシップ先	テーマ・内容
7～9月 80時間程度	ふたば国際プラザ	多文化共生の拠点施設における学習支援等のサポート事業を通して、地域で暮らす外国人市民と交流し、支援団体の取組みと役割、課題を理解する。
7～12月 20時間程度 (単位未取得)	株式会社ツナグム	移住促進事業への参加を通して、移住支援団体の取組みと行政の連携を学び、実際に地域おこし協力隊へのインタビューを通して、持続可能なまちづくりと移住計画の可能性を探る。

◆人間科学科◆

＜人間科学科＞ ※2012年度～2019年度入学生対象 「実験実習・フィールドワークに関するカリキュラム」

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
<p>春学期</p> <p>人間科学実習入門</p> <p>人間科学科の基礎を理解することを目指した人間科学入門の実践科目である。人間科学で扱う実践場面を想定し、演習(学内)および実習(学外)(1泊2日の学外合宿)により授業を行います。また、人間の誕生から死までのライフサイクルにおいて、こころと身体がどのように変化していくのか、またその関係の重要性や課題・課題解決の技について、実践を通して学ぶことを目的としています。</p>	<p>春学期</p> <p>野外教育実習 A</p> <p>毎週の演習とともに、学外での野外実習を通して、組織キャンプとして展開される際の各担当の役割を理解するとともに、グループ単位で展開される活動への支援を、ハードスキルとソフトスキルの両面から習得することを目指す。また、体験学習サイクルによって展開されるキャンプで様々な活動を実際に体験しながら、その効果と指導法を学びます。</p>	<p>春学期</p> <p>運動生理学実験実習</p> <p>※講義科目 「運動生理学」または「スポーツバイオメカニクス」の単位修得が先修条件です。(履修中も可)</p>	<p>春学期</p> <p>スポーツバイオメカニクス実験実習</p> <p>※講義科目 「スポーツバイオメカニクス」の単位修得が先修条件です。(履修中も)</p>
	<p>秋学期</p> <p>野外教育実習 B (集中講義)</p> <p>冬季アウトドア(スキー・スノーボード)スポーツを通して、大自然の厳冬期における身体運動技術と傷害防止技術の獲得を目指します。生涯にわたるレクリエーション活動のツールとして役立つスポーツの技術修得やスノーレスポーツを通して、スポーツ科学や健康科学について学ぶことを目的と、さらに宿泊授業の特徴である集団生活から人間関係やモラルへの理解を深めることも、目的としています。</p>	<p>秋学期</p> <p>野外教育指導実習 I</p> <p>※講義科目 「野外教育論」、実習科目「野外教育実習 A」または「野外教育実習 B」の単位修得が先修条件です。</p>	<p>春学期</p> <p>野外教育指導実習 II</p> <p>※実習科目「野外教育指導実習 I」の単位修得が先修条件です。</p>
			<p>秋学期</p> <p>人間科学フィールドワーク</p> <p>※3年、または4年次に履修可能</p> <p>全体としての人間について、これまで座学を中心にごとごとの体の両面から学んできたことを、実際の現場での実習を通して実践的に理解し、深い人間理解をもとに人に関わり支援できる人材を育成することを目的としています。自身の人間との関わりによって、それぞれのライフコースにおける課題や困難に人々はどうのように向き合い、生きていくのか、こころ・身体両面においてどのような支援ができるのかを学ぶとともに、自らの価値観を問い直し、自己への洞察を深めることが学習の目的です。</p>

先修条件

↑

＜人間科学科＞ ※2020 年度入学生より対象 「実験実習・フィールドワークに関するカリキュラム」

1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
春 学期	秋 学期	春 学期	秋 学期	春 学期	秋 学期	春 学期	秋 学期
<p>人間科学実習入門</p> <p>人間科学科の基本を理解することを目的とした人間科学入門の実践科目である。人間科学で扱う実践場面を想定し、演習(学内)および実習形式(1泊2日の学外合宿)により授業を行います。また、人間の誕生から死までのライフサイクルにおいて、どこも身体がどのように変化していくのか、またその関係の重要性や課題・課題解決の技について、実践を通して学ぶことを目的としています。</p>		<p>人間福祉(国内・海外)フィールドスタディ I</p> <p>FS II に向けて、モチベーションの確認、問題意識の形成、関心領域やテーマの明確化を行い、人間福祉の視点や理念、考え方について共有し、学びの幅を広げることが目的となります。</p>		<p>人間福祉(国内・海外)フィールドスタディ II</p> <p>FS I での学びを受けて、春休み期間中に参加するフィールド先の選定及び準備学習を進める。学びの問や仮説を明確化して企画立案することを目的とします。</p>		<p>人間福祉(国内・海外)フィールドスタディ III</p> <p>フィールドにおいて実施した FS の経験について、人間福祉の視点や理念、考え方を用いて体験を分析、考察し、報告することを目的とします。</p>	
<p>野外教育実習 A</p> <p>毎週の演習とともに、学外での野外実習を通して、組織キヤンプとして展開される際の各担当の役割を理解するとともに、グループ単位で展開される活動への支援を、ハードスキルとソフトスキルの両面から習得することを目指す。また、体験学習サイクルによって展開されるキャンピングでの様々な活動を実際に体験しながら、その効果と指導法を学びます。</p>		<p>野外教育実習 B (集中講義)</p> <p>冬季アウトドア(スキー・スノーボード)スポーツを通して、大自らの体運動技術と傷害防止技術の獲得を目指します。生涯にわたるレクリエーション活動のツールとして役立つスキルとスポーツの技術修得やスノースポーツを通じ、健康科学について学ぶことを目的とし、さらに宿泊授業の特徴である集団生活から人間関係やモラルへの理解を深めることも、目的としています。</p>		<p>運動生理学実験実習</p> <p>※講義科目「運動生理学」または「スポーツバイオメカニクス」の単位修得が先修条件です。(履修中も可)</p>		<p>スポーツバイオメカニクス実験実習</p> <p>※講義科目「スポーツバイオメカニクス」の単位修得が先修条件です。(履修中も可)</p>	
		<p>野外教育実習 I</p> <p>※講義科目「野外教育論」、実習科目「野外教育実習 A」または「野外教育実習 B」の単位修得が先修条件です。</p>		<p>野外教育指導実習 I</p> <p>※講義科目「野外教育論」、実習科目「野外教育実習 A」または「野外教育実習 B」の単位修得が先修条件です。</p>		<p>野外教育指導実習 II</p> <p>※実習科目「野外教育指導実習 I」の単位修得が先修条件です。</p>	
<p>人間科学フィールドワーク ※3 年、または 4 年次に履修可能</p> <p>全体としての人間について、これまで座学を中心とすると身体の両面から学んできたことを、実際の現場での実習を通して実践的に理解し、深い人間理解をもとに人に関わり支援できる人材を育成することを目的としています。生身の人間との関わりによって、それぞれのライフコースにおける課題や困難に人々はどのように向き合い、生きていくのか、こころ・身体両面においてどのような支援ができるのかを学ぶとともに、自らの価値観を問い直し、自己への洞察を深めることが学習の目的です。</p>							
<p>先修条件</p>							

人間科学実習入門

【担当教員】

市瀬 晶子、河鱒 一彦、坂口 幸弘、桜井 智恵子、佐藤 博信、橋本 直子、
藤井 美和、溝畑 潤、嶺重 淑、山 泰幸

【授業目的】

本科目は、人間の誕生から死までのライフサイクルにおける、こころと身体の変化に対して様々な課題を解決する技能を学び、人間存在の意味について考えることを目的とする。

合宿プログラムと演習形式での授業を通して、以下 2 点を授業の目標として設定している。

- ①こころと身体の変化について、さまざまなアプローチから理解を深める
- ②人の存在意義や人と共に生きることについて考え、理解して行動できる

*なお、本科目では、例年 10 月に 1 泊 2 日の合宿プログラムを実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、日帰りプログラムに予定を変更して実施した。

日帰りプログラムの様子



【授業スケジュール】

日帰りプログラム

日付	テーマおよび内容
9月30日(木)	オリエンテーション
10月9日(土) 10月10日(日)	日帰りプログラム ゲストスピーカー講演、甲山登山、グループディスカッション、 キャンパスハイク、教員による講義

演習授業(10月～11月にクラスごとに分かれて実施)

クラス	テーマおよび内容
クラス1 担当：坂口幸弘	「生命のメッセージ展」の開催に伴う事前学習、 設営、振り返りなど
クラス2 担当：桜井智恵子	アイスブレイク、二人組ワークショップ、 テーマ提案説明と選択、課題プレゼンテーション、 グループディスカッションと質問など。
クラス3 担当：藤井美和	オリエンテーション、アイスブレイク 私のモノサシ「4回の気付きワークショップ」 グループディスカッション、プレゼンテーション、課題レポート
クラス4 担当：山泰幸	オリエンテーション、実習前の事前準備、インタビューの基礎知識。 ライフヒストリーの基礎知識。グループディスカッションなど。
クラス5 担当：橋本直子	オリエンテーション、自己紹介 「つながりを考える」ミニ講義、グループワーク 「当事者研究をしてみよう」ミニ講義、グループワークなど。
クラス6 担当：市瀬晶子	アイスブレイク「私の第一印象」、問題提起「私の考える安楽死問題」、 安楽死をめぐるディベート、ふりかえり

人間科学フィールドワーク

【担当教員】市瀬 晶子、坂口 幸弘、橋本 直子

【授業の目的】

これまで学んできた「こころ」と「身体」についての理論・知識を、実際のフィールドを通して実践的に理解することを目的とする。また、さまざまなライフイベントを経験しながら、全人としての人間理解と学生自らの価値観を問い直す。具体的には、ホスピス、高齢者施設、障害者施設、福祉や教育現場における子ども支援プログラム、音楽療法や自殺防止のNPO、遺族のセルフヘルプグループ、リハビリ・トレーニング施設、スポーツクラブ、アスレティックトレーナー、過疎地域、民族調査などの現場などにおいてフィールドワークを実施する。

【授業の内容】

領域別に分かれ、春学期には事前学習としてフィールドの関連知識などを学び、秋学期には事後学習として振り返りを中心に行っていく。また、全領域の学生を対象に月に1回程度、合同授業を実施する。今年度は3名の学生がフィールドワークを実施した。(フィールドワーク先については巻末参照)

【人間科学フィールドワーク最終報告会、実践教育報告会の様子】



【2021年度 合同シラバス・プログラムフロー】

2021年2月28日(日)	フィールドワークエントリーシート提出
2021年3月初旬～2021年3月中旬	フィールドワーク担当者による個人面談
2021年3月まで	フィールドワーク先の決定
2021年4月	人間科学フィールドワーク履修
4月8日(木) 合同授業①	人間科学フィールドワークオリエンテーション
2021年度春学期(4月から7月)	人間科学フィールドワーク(事前学習) フィールドワーク先の理解 個人票やフィールドワークプランの作成、中間報告会 に向けての準備
4月15日(木) 合同授業②	記録の書き方、フィールドワーク中間報告会の説明
5月27日(木) 合同授業③	前年度の人間科学フィールドワーク履修生による体 験談
6月7日(月)	個人票、フィールドワークプラン提出
7月8日(木) 合同授業④	人間科学入門 特別講義①
7月15日(木) 合同授業⑤	フィールドワーク中間報告会
7月15日(木) 合同授業⑥	人間科学入門 特別講義②
2021年6月から11月	フィールドワーク実施(90時間)
9月30日(木) 合同授業⑦	秋学期オリエンテーション
2021年度秋学期(10月から12月)	人間科学フィールドワーク(事後学習) フィールドワークの振り返り、報告会資料作成、準備
12月2日(木) 合同授業⑧	最終報告会
12月11日(土)	実践教育報告会
2021年12月から2022年1月	報告書作成時期
1月17日(月)	日誌・レポート、提出
1月26日(水) 13:00～	2022年度向け人間科学フィールドワーク 説明会

運動生理学実験実習

【担当教員】河緒 一彦

【授業目的】

運動生理学で学んだ知見を実際に現場で活用できるように実験方法習得を目的とする。運動生理学に関する各種、測定法・解析法の技術取得が到達目標である。

*なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンライン形式での授業実施となった。実験が難しい単元については、理論に関する講義を中心に授業を進めた。

【授業内容】

第1回	オリエンテーション
第2回	身体計測1
第3回	身体計測2
第4回	身体組成1
第5回	身体組成2
第6回	筋力1
第7回	筋力2
第8回	筋パワー 1
第9回	筋パワー 2
第10回	心拍数と運動1
第11回	心拍数と運動2
第12回	呼気ガスと運動1
第13回	呼気ガスと運動2
第14回	総合実験
第15回	まとめ

スポーツバイオメカニクス実験実習

【担当教員】河緒 一彦

【授業目的】

スポーツバイオメカニクスで学んだ知見を実際に現場で活用できるように実験方法習得を目的とする。動作解析・生体強度の測定法、解析法の技術取得が到達目標である。

【授業内容】

第1回	オリエンテーション
第2回	写真技術1
第3回	写真技術2
第4回	動画技術1
第5回	動画技術2
第6回	動作解析1
第7回	動作解析2
第8回	動作解析3 3次元分析
第9回	モーションキャプチャー1
第10回	モーションキャプチャー2
第11回	生体強度1
第12回	生体強度2
第13回	総合実験1
第14回	総合実験2
第15回	まとめ

◆人間福祉研究科◆

アドバンスト・フィールドワーク

【担当教員】池埜 聡

【授業内容】

人間福祉研究科博士課程前期課程において、人間福祉に関わる理論と実践を体験として連関させ、現代社会における人間の幸福（well-being）の意味の探求と人と環境の相互作用におけるさまざまな問題を抱える人々への支援を計画、立案、実践できる人材育成に必要な研鑽を積むことを目的とする。

具体的には、社会福祉機関、スポーツ科学関連施設、医療機関、NPO/NGO、公的機関、教育機関などで実習、及び研究テーマに即した現地調査やフィールドワークを約 300 時間行う。

【スケジュール】

春学期前半は、実習計画書作成と実習受け入れ先の調整と依頼、そして実習内容の確定にあてられる。春学期後半及び秋学期は、計画書に基づき、実習及びフィールドワークが実施される。担当教員と定期的なミーティングを実施し、実習及びフィールドワークの経過の確認と必要に応じた計画変更が行われる。

また、12月の実践教育報告会にてポスター発表を行うほか、最終報告書の提出が求められる。

【実践教育報告会の様子】



◆正課外での取り組み◆

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験 ☆合格塾☆

実践教育支援室が主催となり、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の受験を考えている学生に対して、合格に向けてよりよい準備を行うための取り組みを実施。2012年からスタートした試みであり、2019年からは3回生の秋学期より受験に向けての取り組みを開始した。

【実施内容】

4年生対象

<社会福祉士・精神保健福祉士国家試験合格対策ガイダンス>

日時：4月26日（月）17:00～18:40

内容：① 国家試験概要・近年の傾向 ② エクステンション講座の紹介
③ 先輩からの合格体験談 ④ 勉強方法について

実施方法：Zoomによるオンライン開催（同時双方向型）

<模擬試験>

日時：7月11日(土) 9:50～15:45（参加人数：36名）

実施方法：自宅等でのオンライン受験

- ・ 試験解答はMicrosoft Formsを使用した。
- ・ 当日のオリエンテーションは、Zoomを用いて同時双方向形式で行った。

<受験直前対策講座>

学生の苦手科目を中心に対策講座を企画し、兵庫県社会福祉士会に協力を依頼して、受験直前の1月に実施した。なお、講座はいずれもオンライン（Zoomによる同時双方向型）で行った。詳細は下表のとおり。

日程	科目	担当教員	受講者数
1月6日（木）18:30～20:00	社会保障	宮崎 賢太郎 氏	31名
1月11日（火）18:30～20:00	福祉行財政と福祉計画	河本 信吾 氏	27名
1月12日（水）18:30～20:00	福祉サービスの組織と経営	小椋 智子 氏	29名
1月13日（木）18:30～20:00	就労支援サービス	原田 定道 氏	28名

（計4回）

3年生対象

<受験勉強についてのオリエンテーション>

日時：9月30日(木) 5限 @G号館 202 教室

内容：① 国家試験の説明 ② 受験の心構え
③ 学習計画について ④ 試験勉強の方法

<模擬試験>

日時：① 10月2日(土) 9:50～15:45 (参加人数：39名)

② 1月29日(土) 9:50～15:45 (参加人数：32名)

実施方法：自宅等でのオンライン受験

- ・ 試験解答は Microsoft Forms を使用した。
- ・ 当日のオリエンテーションは、Zoom を用いて同時双方向形式で行った。

社会福祉士実習合同研究会・懇談会

【目的】

社会福祉士養成のための実習に関して、実習先施設・機関、学生、養成校の三者協働による実習教育のあり方の研究を進めるにあたり、現場の職員の方々と当大学教職員を交えた研究会・懇談会を行う。2009年度からは本研究会・懇談会にて、新カリキュラム対応の相談援助実習の実践報告、モデル実習プログラミングについての協議を行っている。昨年度に引き続き、本年度も新型コロナウイルスの影響によりオンライン（Zoomによる同時双方向型）での実施となった。また、領域別振り返りでは、新型コロナウイルス対策や実習への影響の共有、および2023年から始まる240時間実習（2ヶ所実習）に向けての課題などについて率直な意見交換を行った。

【日時】 2022年2月18日（金）14:30～17:00

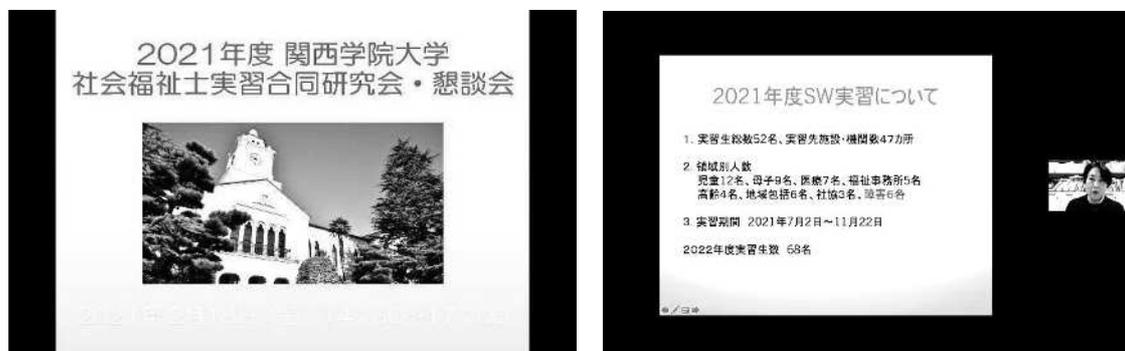
【実施方法】 オンライン形式（Zoomによる同時双方向型）

※事後アンケートはMicrosoft Formsにて実施した。

【プログラム内容】

- ・14:00～ 受付
- ・14:30～14:50 開会挨拶、開催趣旨説明・全体報告
- ・14:50～15:45 領域別振り返り&ディスカッション
- ・15:55～16:55 各領域からの報告
- ・16:55～ 次年度に向けて

【参加者】 施設・機関職員 18名、教職員 27名 計 45名



社会起業学科 新入生歓迎プログラム これが社起や DAY!!2021

【概要】

毎年恒例となった社会起業学科の新入生を対象としたイベントを実施した。学科についての学び、どのような大学生活を送るのかを考える機会を持つこと、また同じ学科の仲間・先輩・教員との交流の場を提供することを目的としている。今年度は社会起業学科2年生13名が主体となり運営・企画を行った。コロナ禍のため入国できない留学生とはオンラインでつないで実施した。

【日時】 2021年4月10日(土) 13:00~17:00

【場所】 G号館 201号・202号教室

【プログラム】

時間	内容
13:00~13:30	開会式
13:30~14:00	アイスブレイク①
14:00~16:00	レクリエーション
16:00~16:15	休憩
16:15~16:45	アイスブレイク②
16:45~17:00	まとめ・閉会式・解散

【参加者】 計104名

(1年生78名、学生スタッフ13名、教員11名、助手2名)

【当日の様子】



人間福祉学部 実践教育報告会

【目的】

人間福祉学部では 2008 年度の学部設立以来、学内での学びを踏まえた具体的な実践の場として、様々な実践教育プログラムを展開している。2011 年度より、全学科の実践教育を報告する場として「人間福祉学部 実践教育報告会」を開催しており、昨年度に引き続きポスターセッション方式により実施し、他実践教育の報告を通しての学びや気づきを、全体で共有した。

【日時】 2021 年 12 月 11 日（土）
13：00～15：45

【場所】 G101・G201・G202・G301 教室他

【タイムスケジュール】

13：00～ 13：10 開会・学部長挨拶
13：10～ 13：20 概要説明
13：30～ 15：00 ポスターセッション
15：15～ 15：45 振り返り・閉会

※同日 9:00～12:00に『ソーシャルワーク実習報告会』、『精神保健福祉援助実習報告会』『学校ソーシャルワーク実習』、『医療ソーシャルワーク・インターンシップ報告会』を実施。

【当日の様子】





【当日の参加者数】

参加者	人数
報告者 <社会福祉学科> ・ソーシャルワーク実習 ・医療ソーシャルワーク・インターンシップ ・学校ソーシャルワーク実習 ・精神保健福祉援助実習 <社会起業学科> ・社会起業インターンシップ（国内・海外） ・社会起業フィールドワーク（国内） ・社会起業アドバンスト・インターンシップ <人間科学科> ・人間科学フィールドワーク <大学院> ・アドバンスト・フィールドワーク	72名
その他学生	94名
教員・助手	38名
実習施設関係者	10名
一般（卒業生）	5名
合計	219名

大阪府福祉部職場体験学習

【目的】

大阪府福祉部の職場を1日体験することにより、行政の取り組みについて理解を深め、また公務員福祉職の仕事の実際についてイメージをもつことを目的とする。

【参加者】

2021年9～10月実施 : 4名

【実習先と実習内容】

●砂川厚生福祉センター

- ・施設概要、支援プログラムの説明
- ・強度行動障がいの状態を示す知的障がい者への支援について
- ・反社会性・非社会性のある知的障がい者への支援について

●障がい者自立相談支援センター

- ・役割、機能、業務内容、関係機関との連携等の説明
- ・身体障がい者、知的障がい者更生相談所業務について

●障がい者自立センター

- ・施設の概要、各職種の役割、利用者支援の概要等説明
- ・高次脳機能障がいの概要と支援の概要
- ・プログラム体験（認知訓練、片麻痺での着替え体験、車いす体験等）

●子ども家庭センター

- ・役割、機能、業務内容と児童相談の流れや関係機関との連携等の説明
- ・一時保護所の説明

●児童自立支援施設

- ・施設概要（子どもライフサポートセンター、修徳学院）、支援プログラムの説明

●女性相談センターについて

- ・役割、機能、業務内容と女性相談の流れや関係機関との連携等の説明

福祉系進路相談セミナー

今年度も『福祉系進路相談セミナー』と題して、学部内全学科の学生を対象に講座を開催した。講座全体の目的としては、学生に対し、福祉業界での就職活動の流れや、福祉職の具体的なイメージを形成する機会、並びに現在の授業や実習での学びが将来の仕事にどのように結びつくのかについての見通しを立てる機会を提供することが挙げられる。特に第二回では各学科の卒業生で、現在福祉関連分野で御活躍されている先輩方学生時代の実習や就職活動に関する体験談等についてお話し頂いた。参加者としては、身近な存在の先輩方をロールモデルとすることにより、具体的な将来像をイメージする機会になったのではないかとと思われる。

第一回『進路を決めるための基礎知識』

兵庫県社会福祉協議会の富永氏、本学キャリアセンターの兼坂氏と実践教育支援室室長の川島先生にお越しいただいた。前半は兼坂氏から一般就職並びに福祉就職における就職活動のスケジュールや準備、採用担当者の視点、就職に対する心構えについてお話し頂いた。後半は富永氏から、福祉業界や業務内容、福祉業界で求められる人材像、福祉就職活動のポイントや福祉人材センターの活用法についてお話し頂いた。

★日時：2021年11月24日（水）17：00～18：30

★場所：G号館 201号教室

★講師：兼坂 俊甫氏（キャリアセンター）

富永 堯史氏（兵庫県社会福祉協議会 兵庫県福祉人材センター）

川島 恵美先生（実践教育支援室）

★参加者数：30名

★プログラム：前半『進路を決めるための基礎知識』

講師：兼坂 俊甫氏

後半『社会福祉職場のお仕事～就職活動の準備に向けて～』

講師：富永 堯史氏



第二回 『福祉の学びをキャリア=仕事につなげるには？～福祉系公務員編～』

大阪府、大阪市、神戸市、尼崎市の福祉職の方、人事御担当者様にお越しいただいた。前半は、各自治体の福祉職の魅力、やりがい、採用のプロセスやキャリアアップの仕組み等についてお話し頂き、後半は各ブースで個別相談会を実施した。

★日時：①2021年12月17日（金） 17:00～18:45

②2021年12月22日（水） 17:00～18:45

★場所：G号館 多機能演習室

★ゲスト：大阪府、大阪市、神戸市、尼崎市福祉職の方、人事御担当者様

★参加者数：延べ24名

★プログラム

17:00～17:05 開会・挨拶

17:05～17:55 各自治体よりご説明

18:00～18:40 個別相談会

18:40～18:45 閉会・挨拶



第三回 『先輩との進路相談会 Part I ～私はこうやって進路を決めました～』

各福祉業界で御活躍されている卒業生の先輩方をゲストとしてお招きした。前半は学生時代の就職活動や現在のお仕事についてシンポジウム方式でお話し頂き、後半は各ブースで個別相談会を実施した。

★日時：2022年2月19日（土）16:00～18:30

★場所：Zoomを活用したオンライン形式

★ゲスト：三学科の卒業生で、福祉関連業界で御活躍されている先輩方6名

★参加者数：15名

★プログラム

16:00～16:05 開会挨拶

16:05～17:15 シンポジウム

17:15～18:25 個別相談会

18:25～18:30 閉会挨拶



第四回 『先輩との進路相談会 PartⅡ ～私はこうやって進路を決めました～』

福祉業界あるいは一般企業に就職予定の4回生の先輩方をゲストとして招き、就職活動や内定先の仕事内容についてシンポジウム方式でお話し頂き、後半は各ブースで個別相談会を実施した。

★ 日時：2022年3月11日（金）14:00～16:30

★ 実施形式：オンライン(Zoom)と対面(G号館 多機能演習室)形式のハイブリッド型

★ ゲスト：社会福祉学会4回生 4名

★ 参加者数：13名

★ プログラム

14:00～14:05 開会挨拶

14:05～15:15 シンポジウム

15:15～16:25 個別相談会

16:25～16:30 閉会挨拶



◆資料◆

2021年度 実習・インターンシップ等概要データ

実践科目履修者数

学科別	実践教育科目名	人数/名
社会福祉学科	ソーシャルワーク実習	52
	医療ソーシャルワーク・インターンシップ	1
	精神保健福祉援助実習	3
	学校ソーシャルワーク実習	2
社会起業学科	社会起業フィールドワーク(国内)	78
	社会起業フィールドワーク(海外)	13
	社会起業インターンシップ(国内)	8
	社会起業インターンシップ(海外)	3
	社会起業アドバンスト・インターンシップ	2
人間科学科	人間科学フィールドワーク	3
人間福祉研究科	アドバンスト・フィールドワーク	3
合計		168

人間福祉学部学生数

学年別	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
社会福祉学科	115	130	120	143	508
社会起業学科	78	80	74	80	312
人間科学科	106	103	91	106	406
合計	299	313	285	329	1226

国家試験結果

	受験者数	合格者数	合格率
社会福祉士	49	33	67.3%
精神保健福祉士	3	3	100%

2021年度 実習・インターンシップ・フィールドワーク先一覧

◆ソーシャルワーク実習◆

(順不同)

	種別	施設・機関・団体名	所在地
1	児童	大阪府吹田子ども家庭センター	大阪府吹田市
2	児童	大阪市中央こども相談センター	大阪府大阪市中央区
3	児童	堺市子ども相談所	大阪府堺市堺区
4	児童	神戸市こども家庭センター	兵庫県神戸市中央区
5	児童	社会福祉法人 神愛子供ホーム 児童養護施設 神愛子供ホーム	兵庫県神戸市東灘区
6	児童	社会福祉法人 大阪水上隣保館 児童養護施設 翼	大阪府豊中市
7	児童	社会福祉法人 白百合学園 児童養護施設 グイン・ホーム	兵庫県神戸市北区
8	児童	社会福祉法人 神戸婦人同情会 児童養護施設 子供の家	兵庫県尼崎市
9	児童	社会福祉法人 神戸少年の町 児童養護施設 神戸少年の町	兵庫県神戸市垂水区
10	児童	社会福祉法人 大阪西本願寺常照園 児童養護施設 大阪西本願寺常照園	大阪府吹田市
11	児童	神戸市立若葉学園	兵庫県神戸市垂水区
12	母子	社会福祉法人 みおつくし福祉会 南さくら園	大阪府大阪市阿倍野区
13	母子	社会福祉法人 神戸新生福祉会 グリーンコート新生	兵庫県神戸市長田区
14	母子	社会福祉法人 三光事業団 ファミリエひかり	兵庫県西宮市
15	母子	社会福祉法人 みおつくし福祉会 リアン東さくら	大阪府大阪市東成区
16	母子	社会福祉法人 みおつくし福祉会 北さくら園	大阪府大阪市東淀川
17	母子	社会福祉法人 八尾隣保館 ルフレ八尾	大阪府八尾市
18	母子	社会福祉法人 四天王寺福祉事業団 大阪府立女性自立支援センター	大阪府堺市南区
19	母子	社会福祉法人 大念仏寺社会事業団 ボ・ドーム大念仏	大阪市平野区
20	医療	医療法人 協和会 協立温泉病院	兵庫県川西市
21	医療	社会医療法人 生長会 ベルピアノ病院	大阪府堺市西区
22	医療	公益財団法人 淀川勤労者厚生協会 附属 西淀病院	大阪府大阪市西淀川区

23	医療	社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院	大阪府高槻市
24	医療	医療法人社団 秀英会 神戸朝日病院	兵庫県神戸市長田区
25	医療	医療法人 協和会 協立病院	兵庫県川西市
26	医療	社会医療法人 愛仁会 高槻病院	大阪府高槻市
27	高齢	社会福祉法人聖徳園 にしのみや聖徳園	兵庫県西宮市
28	高齢	社会福祉法人亀望会 江之子島コスモス苑	大阪府大阪市西区
29	高齢	社会福祉法人慶生会 東生野地域包括支援センター	大阪府大阪市生野区
30	高齢	社会福祉法人ライフサポート協会 住吉区北地域包括支援センター	大阪府大阪市住吉区
31	高齢	社会福祉法人 ヒューマンライツ福祉協会 西成区北西部地域包括支援センター	大阪府大阪市西成区
32	高齢	社会福祉法人イエス団 ハーバーランドあんしんすこやかセンター	兵庫県神戸市中央区
33	高齢	社会福祉法人 神戸福生会 御蔵あんしんすこやかセンター	兵庫県神戸市長田区
34	高齢	社会福祉法人 神戸福生会 池田宮川あんしんすこやかセンター	兵庫県神戸市長田区
35	高齢	社会福祉法人協同の苑 ケイメゾンときめき (神津・有岡地域包括支援センター)	兵庫県伊丹市
36	高齢	社会福祉法人甲山福祉センター 深津地域包括支援センター	兵庫県西宮市
37	地域	伊丹市社会福祉協議会	兵庫県伊丹市
38	地域	奈良市社会福祉協議会	奈良県奈良市
39	地域	香芝市社会福祉協議会	奈良県香芝市
40	公的	神戸市中央福祉事務所	兵庫県神戸市中央区
41	公的	神戸市西福祉事務所	兵庫県神戸市西区
42	公的	伊丹市福祉事務所	兵庫県伊丹市
43	公的	尼崎市南部保健福祉センター	兵庫県尼崎市
44	障害	社会福祉法人 ライフサポート協会 こころの相談ネットふうが	大阪府大阪市住吉区
45	障害	社会福祉法人 水仙福祉会 姫島こども園	大阪府大阪市東淀川区
46	障害	社会福祉法人 今川学園 キンダーハイム	大阪府大阪市東住吉区
47	障害	社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団 神戸愛生園	兵庫県神戸市須磨区
48	障害	社会福祉法人 ヨハネ会 たるみ障害者相談支援センター	兵庫県神戸市垂水区

◆医療ソーシャルワーク・インターンシップ◆

		施設・機関・団体名	所在地
1	医療	社会医療法人 愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院	大阪府高槻市

◆学校ソーシャルワーク実習◆

		施設・機関・団体名	所在地
1	学校	吹田市教育委員会 吹田市立青山台小学校	大阪府吹田市
2	学校	吹田市教育委員会 吹田市立古江台小学校	大阪府吹田市

◆精神保健福祉援助実習◆

		施設・機関・団体名	所在地
1	地域	社会福祉法人芦屋メンタルサポートセンター 就労継続支援B型 ライラック	兵庫県芦屋市
2	地域	一般社団法人みーる リカバリースペース みーる	大阪府東大阪市
3	地域	特定非営利活動法人コスモス 地域活動支援センターふらっと	兵庫県宝塚市
4	病院	社会福祉法人天心会 小阪病院	大阪府東大阪市
5	病院	医療法人尚生会 湊川病院	兵庫県神戸市兵庫区
6	病院	幸地クリニック	兵庫県神戸市中央区

◆社会起業フィールドワーク（国内）◆

	施設・機関・団体名	所在地
1	特定非営利活動法人 暮らしづくりネットワーク北芝	大阪府箕面市
2	一般社団法人 タウンスペースWAKWAK	大阪府高槻市
3	バザールカフェ	京都府京都市上京区
4	NGO神戸外国人救援ネット/マサヤンタハナン	兵庫県神戸市中央区
5	神戸アジア食堂バルSALA	兵庫県神戸市中央区
6	NPO法人 富岡町3・11を語る会	福島県双葉郡
7	特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構	大阪府大阪市西成区
8	NPO法人 サポートィブハウス連絡協議会	大阪府大阪市西成区
9	認定特定非営利活動法人 こどもの里	大阪府大阪市西成区
10	大阪府簡易宿所生活衛生同業組合	大阪府大阪市西成区
11	西成区役所	大阪府大阪市西成区

◆社会起業フィールドワーク（海外）◆

	施設・機関・団体名	所在地
1	KISEKI	ルワンダ

◆社会起業インターンシップ（国内）◆

	施設・機関・団体名	所在地
1	特定非営利活動法人 山科醍醐こどものひろば	京都府京都市山科区
2	特定非営利活動法人 クロスベイス	大阪府大阪市生野区
3	特定非営利活動法人 IKUNO・多文化ふらっと	大阪府大阪市生野区
4	NGO神戸外国人救援ネット/ワークメイト	兵庫県神戸市中央区
5	特定非営利活動法人 ここ	大阪府吹田市
6	認定特定非営利活動法人 Homedoor	大阪府大阪市北区
7	一般社団法人 兵庫ブルーサンダーズ	兵庫県三田市

◆社会起業インターンシップ（海外）◆

	施設・機関・団体名	所在地
1	RAFIQ（在日難民との共生ネットワーク）	大阪府大阪市淀川区
2	特定非営利活動法人 クロスベース	大阪府大阪市生野区
3	公益財団法人 とよなか国際交流協会	大阪府豊中市

◆社会起業アドバンスト・インターンシップ◆

	施設・機関・団体名	所在地
1	特定非営利活動法人 神戸定住外国人支援センター ふたば国際プラザ	兵庫県神戸市長田区
2	株式会社 ツナグム	京都市上京区

◆人間科学フィールドワーク◆

	施設・機関・団体名	所在地
1	社会福祉法人 きらくえん けま喜楽苑 グループホームいなの家	兵庫県尼崎市
2	特定非営利活動法人 いちごの会 リカバリハウス いちご尼崎	兵庫県尼崎市
3	かけはし、てのひら、しおりの会、関西遺族会ネットワーク、グリーン エデュケーションプロジェクト、NPO法人いのちのミュージアム	兵庫県、大阪府、東京都

◆アドバンスト・フィールドワーク◆

	施設・機関・団体名	所在地
1	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 宝塚せいいれの里 結いホーム宝塚	兵庫県宝塚市
2	特定非営利活動法人 いちごの会 リカバリハウス いちご尼崎	兵庫県尼崎市
3	株式会社 TNSカンパニー 就労継続支援B型事業所 ゆくる	兵庫県尼崎市

実践教育科目担当教員一覧

◆社会福祉学科◆

「ソーシャルワーク実習入門」

川島 恵美	平尾 昌也	高橋 味央
岩間 麻子	金 慧英	熊谷 愛

「ソーシャルワーク演習Ⅳ」

井上 みえ	佐藤 寿一	高橋 味央
永井 文乃	中島 尚美	藤田 譲
前嶋 弘	渡邊 健	

「ソーシャルワーク演習Ⅴ」

川島 恵美	橘高 通泰	高橋 味央
平尾 昌也		

「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」および「ソーシャルワーク実習指導Ⅲ」

池埜 聡	井上 みえ	今井 小の実
岡本 みゆき	川島 恵美	風間 朋子
金 慧英	熊谷 愛	児玉 志保
小林 浩司	佐藤 寿一	高橋 味央
中島 尚美	永峰 千鶴	西尾 怜
林 真帆	原 弘輝	馬場 幸子
平尾 昌也	廣瀬 みどり	福田 孝子
藤井 博志	松岡 克尚	前川 敦
安田 美予子	渡邊 健	

「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」および「精神保健福祉援助実習指導Ⅲ」

松岡 克尚	加納 光子	光田 豊茂
熊谷 愛		

「精神保健福祉援助実習」

松岡 克尚

「精神保健福祉援助演習Ⅰ」および「精神保健福祉援助演習Ⅱ」

松岡 克尚 風間 朋子

「医療ソーシャルワーク・インターンシップ」

林 眞帆

「学校ソーシャルワーク実習」

西野 緑

「ソーシャルワーク論B」

高橋 味央 平尾 昌也

「ソーシャルワーク論F」

平尾 昌也 高橋 味央

◆社会起業学科◆

「社会起業フィールドワーク(国内)」

白波瀬 達也 村井 琢哉

「社会起業フィールドワーク(海外)」

森重 裕子

「社会起業インターンシップ(国内・海外)」

生田 正幸(国内) 澤田 有希子(国内)

松本 浩美(国内) 村井 琢哉(国内)

武田 丈(海外)

「社会起業プラクティス演習」

村井 琢哉

「社会起業アドバンスト・インターンシップ」

澤田 有希子

◆人間科学科◆

「人間科学実習入門」

市瀬 晶子	河鱈 一彦	坂口 幸弘
桜井 智恵子	佐藤 博信	橋本 直子
藤井 美和	溝畑 潤	嶺重 淑
山 泰幸		

「人間科学フィールドワーク」

市瀬 晶子	坂口 幸弘	橋本 直子
-------	-------	-------

「運動生理学実験実習」／「スポーツバイオメカニクス実験実習」

河鱈 一彦

◆人間福祉研究科◆

「アドバンスト・フィールドワーク」

池埜 聡

◆実践教育支援室 スタッフ紹介◆

社会福祉学科	准教授	川島 恵美	(室長)
社会福祉学科	助教	平尾 昌也	
社会福祉学科	助教	高橋 味央	
	実習助手	熊谷 愛	(社会福祉学科担当)
		金 慧英	(社会福祉学科担当)
		岩間 麻子	(社会起業学科担当)
		原 弘輝	(人間科学科担当)
実験実習指導補佐		風間 崇克	
事務職員		淵田 真麻	(庶務担当)

◆2021年度 発行物一覧◆

- ・2021年度 ソーシャルワーク実習 実習報告会
- ・2021年度 4年生実習・インターンシップまとめ
- ・2021年度 社会起業学科実践教育報告集
- ・2021年度 人間科学フィールドワーク報告集

2021 年度
関西学院大学人間福祉学部

Annual Report

2022 年 3 月発行

【編集・発行】 関西学院大学人間福祉学部
【連絡先】 関西学院大学人間福祉学部
実践教育支援室
〒662-8501
兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155
TEL 0798-54-6272
FAX 0798-54-6293



KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY